The base of Marine

ONE PIECE

尾田栄一郎画集

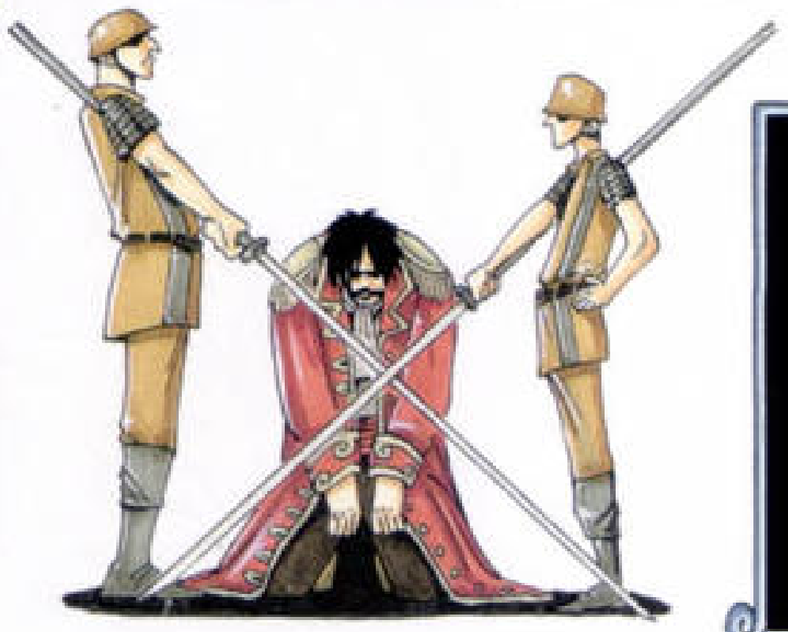
COLOR WALK 1

PIECE WORLD MAP

EAST BLUE

富・名声・力
かつてこの世の全てを
手に入れた男

〝海賊王〟
ゴールド・ロジャー



彼の死に際に
放った一言は

全世界の人々を
海へ駆り立てた

おれの
財宝か？
欲しけりゃ
くれてやる
ぜ…

せは

二ヤ…

探してみろ
この世の全てを
そこに
置いてきた

大海賊時代を
迎える
――――

PAGE 8-17 1997.8.4 ~ 1997.9.29

PAGE 18-33 1997.10.6 ~ 1997.12.1

PAGE 34-41 1997.12.8 ~ 1998.2.16

PAGE 42-47 1998.2.23 ~ 1998.4.20

PAGE 48-55 1998.4.27 ~ 1998.6.29

PAGE 56-59 IMAGINATION

PAGE 60-65 1998.7.6 ~ 1998.9.7

PAGE 66-73 1998.9.14 ~ 1998.11.9

PAGE 74-87 1998.11.16 ~ 1999.1.31

PAGE 88-94 1999.2.1 ~ 19994.5

PAGE 95-100 EARLY DAYS

ONE PIECE

尾田栄一郎画集

COLOR WALK 1

●CONTENTS●

PAGE 101-105 MONOCHROME TALK

PAGE 106-107 INDEX

PAGE 108 POSTSCRIPT & AUTHOR'S PROFILE

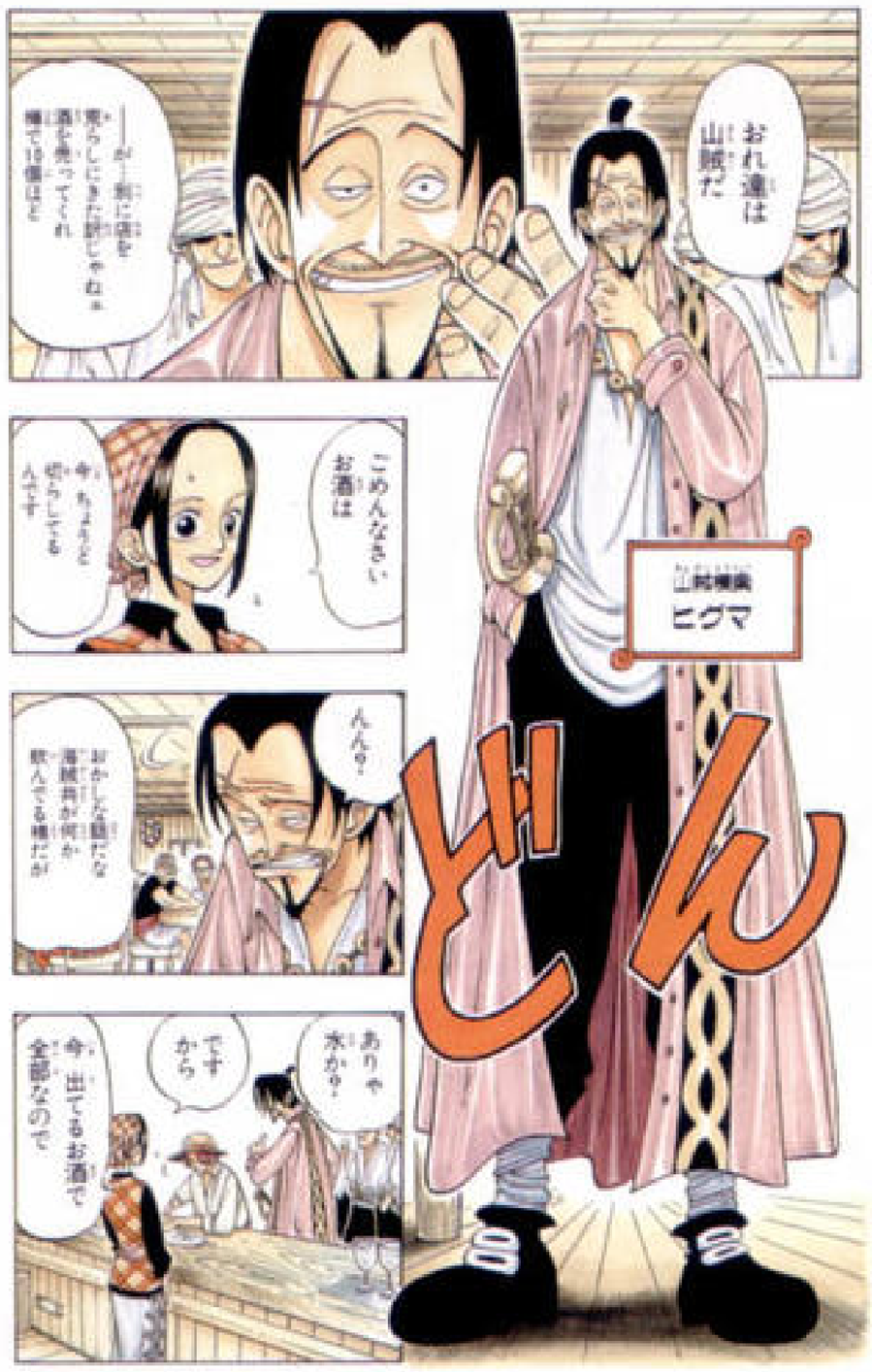
Foosha villag
1997.8.4～1997.9.29

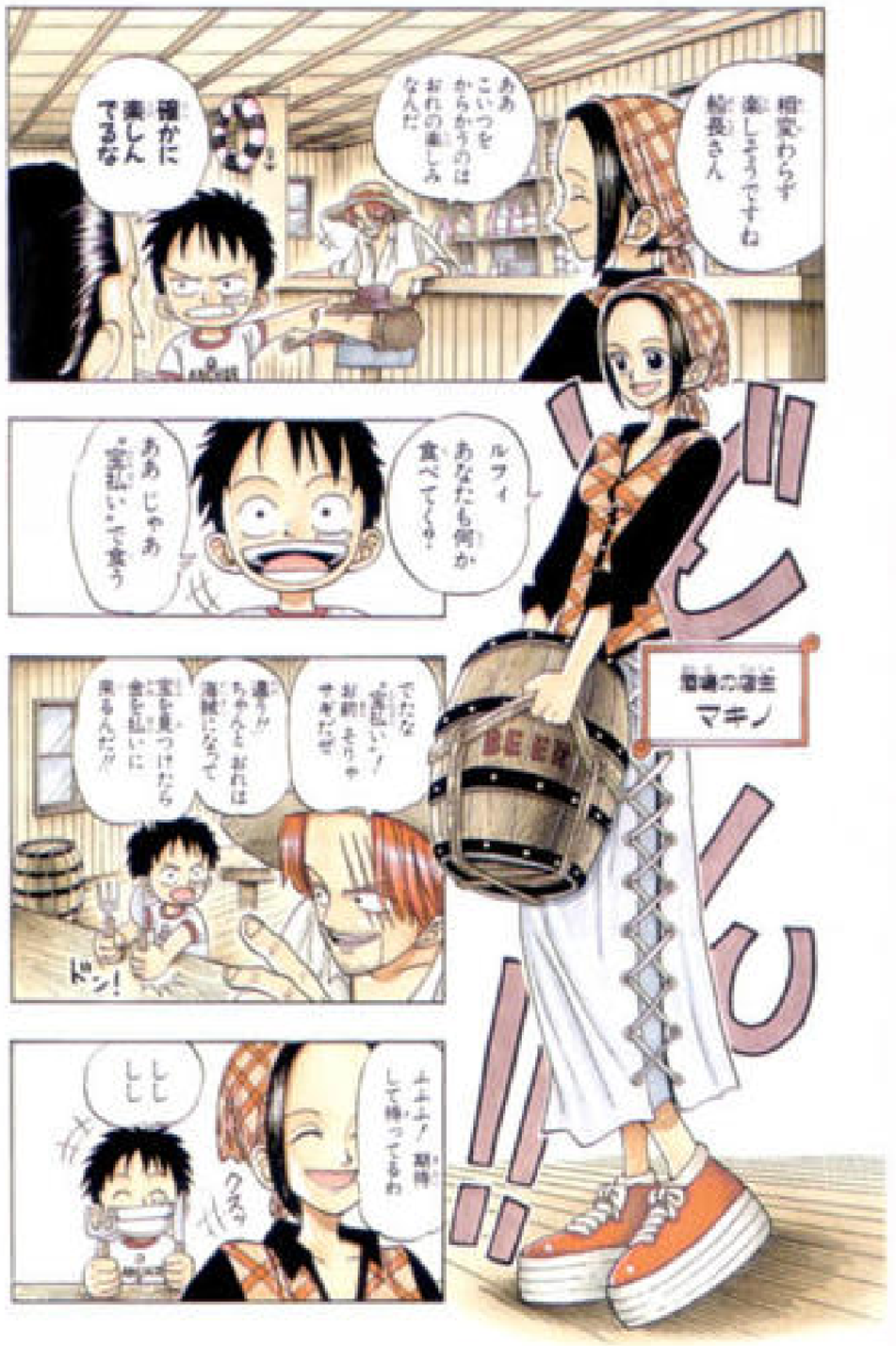
宝物と海があれば、海賊は malt る。
彼らには、欲しいものが一つある。
「大海賊時代」が幕を開けて20年後、
ついに伝説が海へ飛び出した。
そんなとこ。

知る人ぞ知る。モンキー・D・ルフィはとても絵が下手。
ドクロなんかまともに描けやしない。
実はこの絵、ルフィはゾロの似顔絵を描こうとした。
――まったくルフィは絵が下手だ。
それじゃまるで、ドクロじゃないか。
まだこの頃絵が下手って設定できてなかったんじゃない？
とか言う人は、まさかいまいね。

だっはっはっはっは
お前なんかが海賊になれるか!!
カナヅチは海賊にとって致命的だぜ!!
カナヅチでも船から落ちなきゃいいじゃないか
それに戦ってもおれは強いんだ
ちゃんとたたえてるから
おれのパン手は銃のように強いんだ!!!
DON!
海軍頂上戦争
"赤髪のシャンクス"
ドン!!

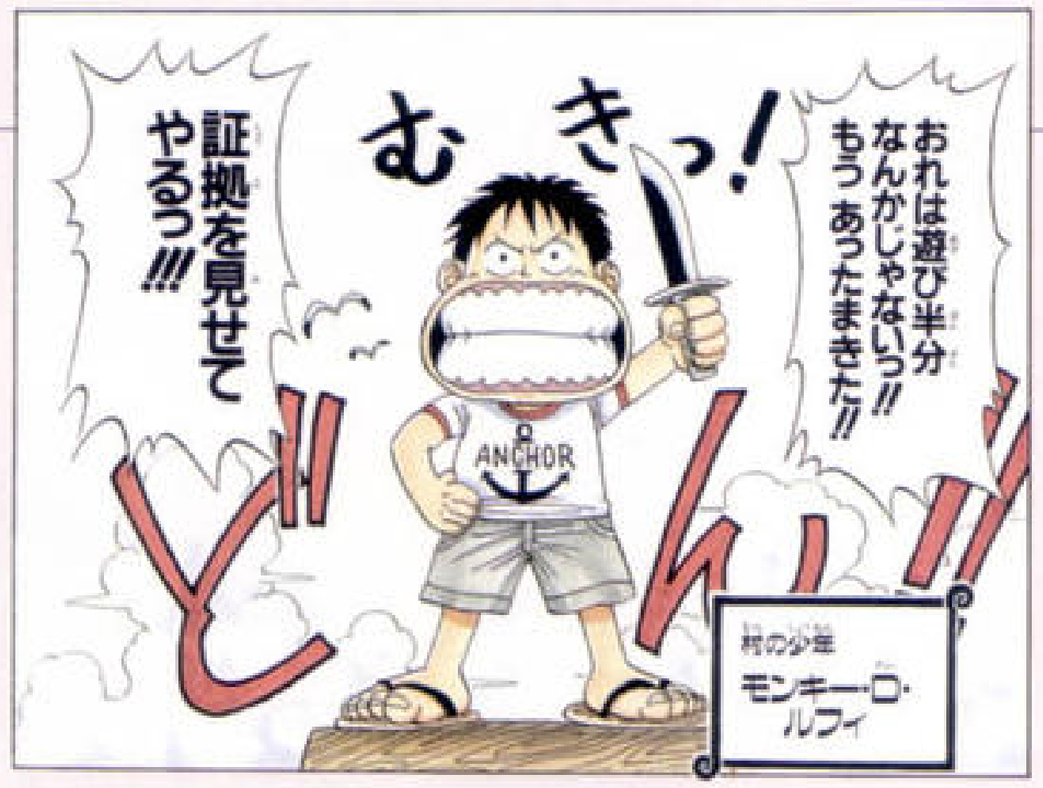
おうおうルフィ! なんだかごきげんナナメだな
楽しくいこうぜ何事も!
そう! 海賊は楽しいぜェ
海は広いし大きいし!! いろんな島を冒険するんだ
何より自由っ!!


おれ達は山賊だ
——が…別に酒を売らしにきた訳じゃねェ 酒を売ってくれ 値では値はと
ごめんなさいお酒は
今 ちょうど切らしてるんです
んん?
おかしな島だな 海賊丹が何か飲んでる様だが
ありゃ水か?
ですから
今 出てるお酒で全部なので
海軍頂上戦争
ヒグマ
ドン!!

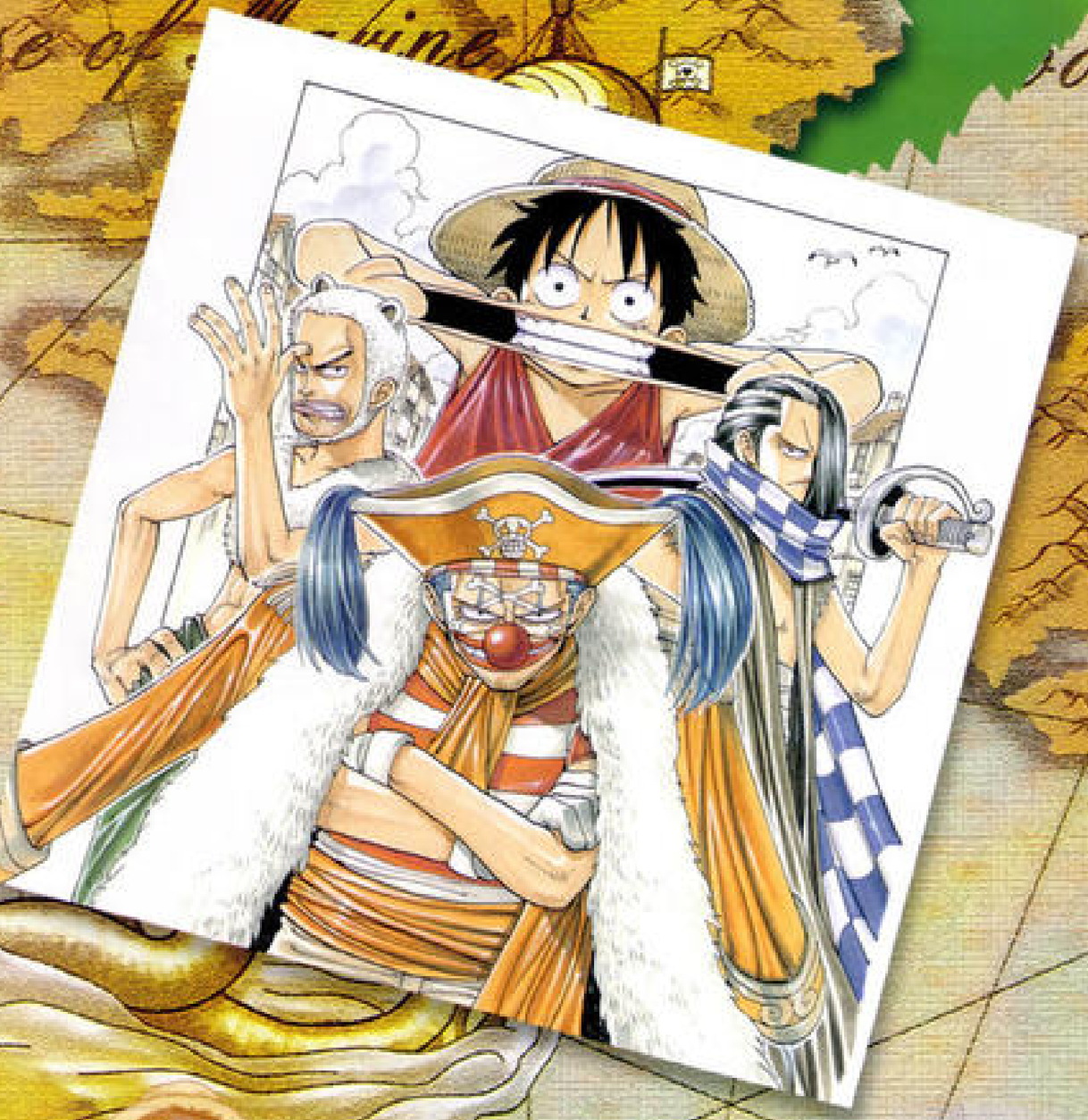

相変わらず楽しそうですね船長さん
ああこいつをからかうのはおれの楽しみなんだ
確かに楽しんでるな
ルフィあなたも何か食べてく?
ああじゃあ"美しい"ご飯
でたな"美しい"! お前!! そりゃサボだぜ
違う!! ちゃんと おれは海賊になって"宝"を見つけたら金を払いに帰るんだ!!
ドン!
ふふふ! 期待して待ってるわ
ししし
クスクス
海軍頂上戦争
マキノ
BEER

大海賊時代

史上に唯一人
〝海賊王〟と
呼ばれた男
G・ロジャーの
遺した大秘宝
『ワンピース』を
めぐる熱く
壮絶な時代ー
幾人もの
海賊達が
旗をかかげ
戦い
名を上げた…
そんな時代だ



1997.10.6~1997.12.1

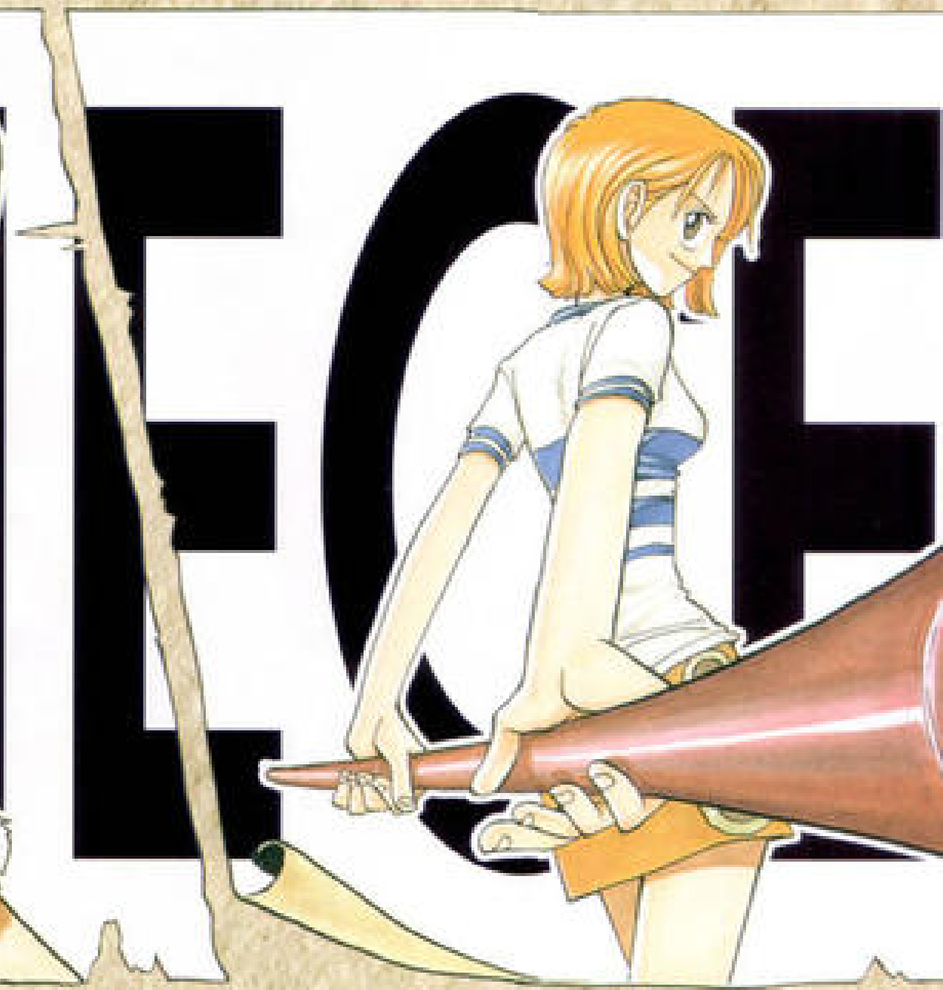


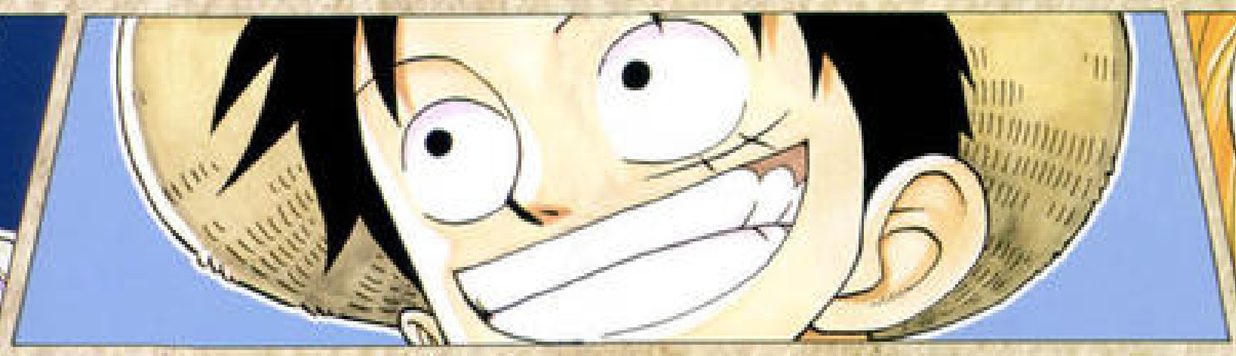
ONE PIECE WORLD MAP

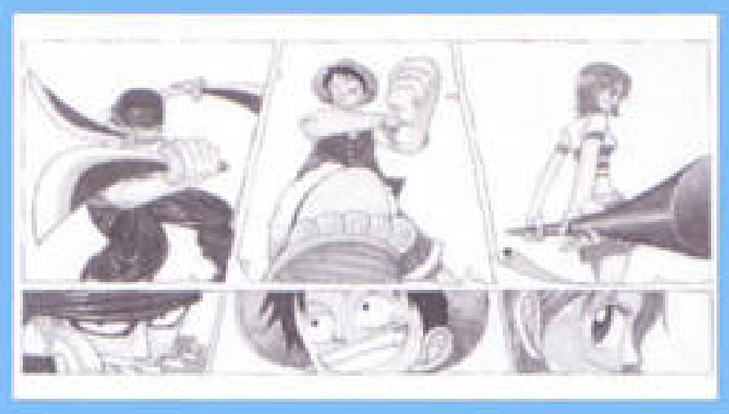
ONE PIECE
ワンピース
EIICHIRO ODA

竜という架空の生物を初めて知ったのは
小さい頃に読んだ絵本
そこには、しましまの竜がいた

CHAPTER

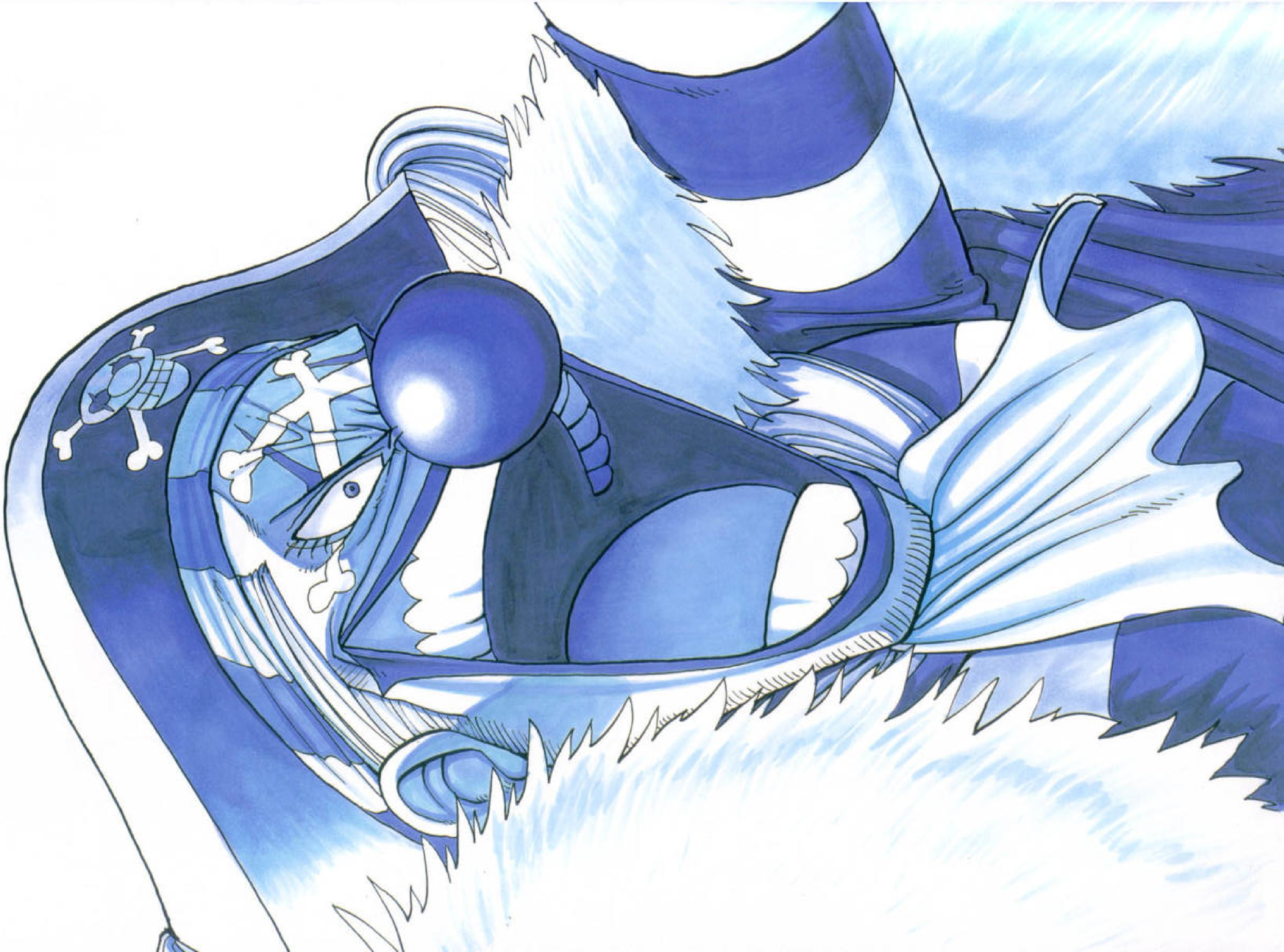






ルフィ、ゾロ、ナミ。
とりあえず、起爆剤(ダイナマイト)が揃った。
――っていう、僕の中ではそんな絵(イメージ)。

DUMPLING
SHERIANGHOT



奴らには海賊の一団を敵に回す事の恐ろしさを教える必要がある!!!

ここで一発"猛獣ショー"だっ!!!

おおおっ!! モージさんだ!!

お呼びで?

バギー船長

モージさんの猛獣ショーだ!!!

モージ モージ モージ モージ モージ

ガルルル…!!

バギー一味副船長"猛獣使いのモージ"

ロロノア・ゾロの首私がとっても?

モージッ! モージッ! モージッ!

構わん

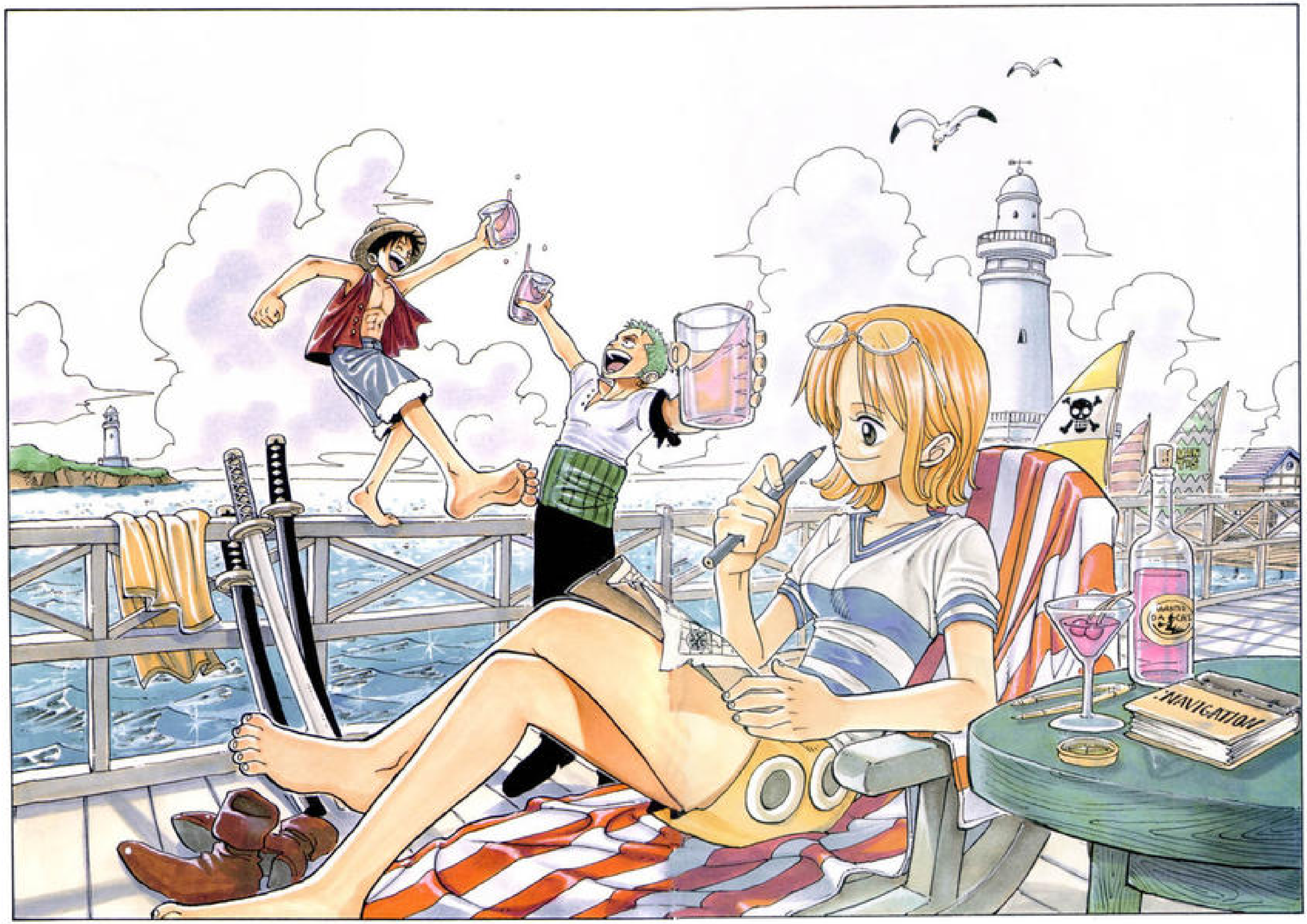
仲間を
盾に…

ゴオオオオ
旗挙げ以来
最大の屈辱ですね
船長
おれァ もう
怒りで ものも
言えねェよ…

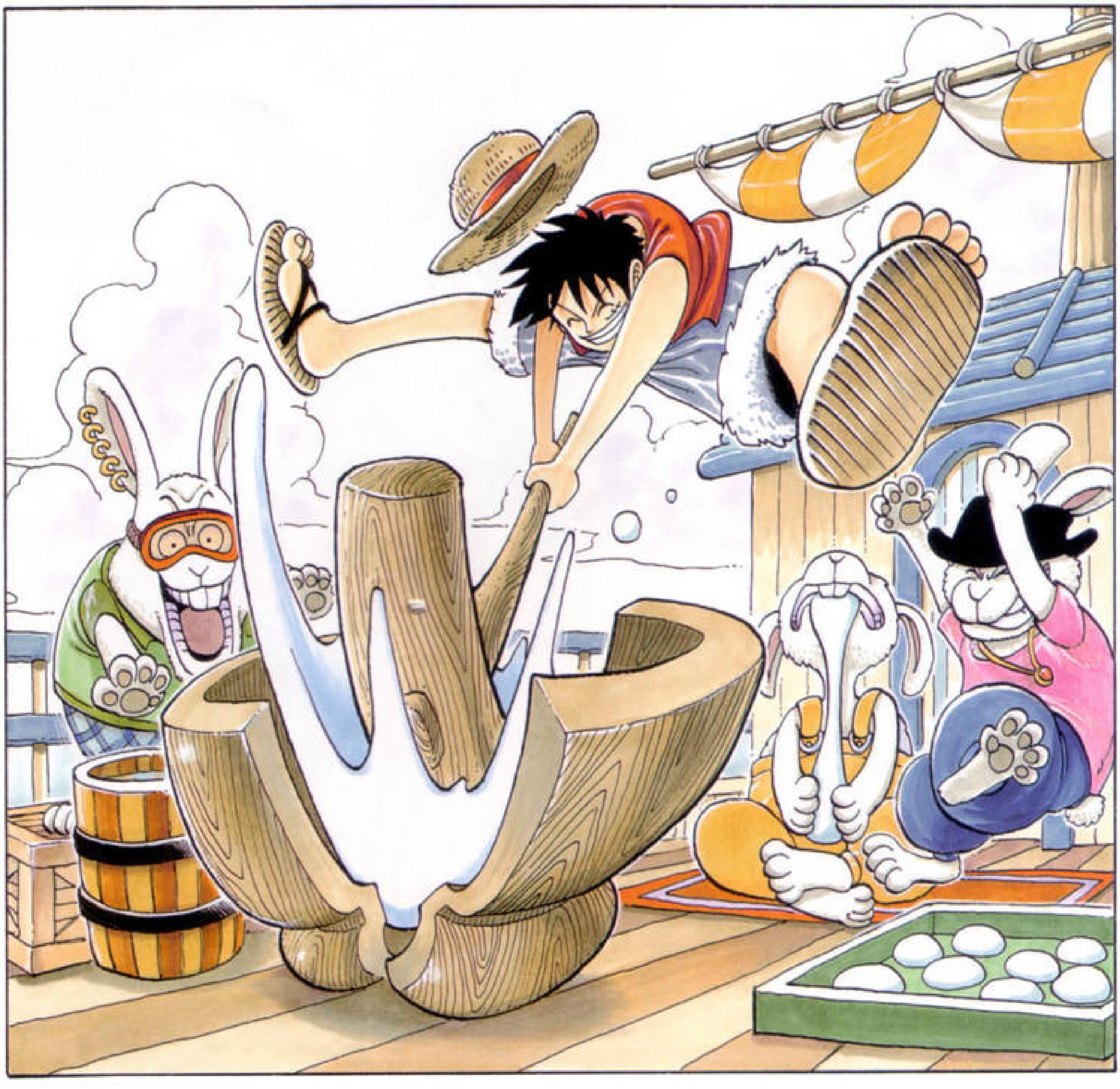
ゴーン
くらっ!!
小僧ども!!
シュシュを
いじめるんじゃ
ねェっ!!
シュシュ
誰だ
あいつら
わしか
わしは
この町の長
をさがらの
町長じゃ!!!
建設の武神
ブードル

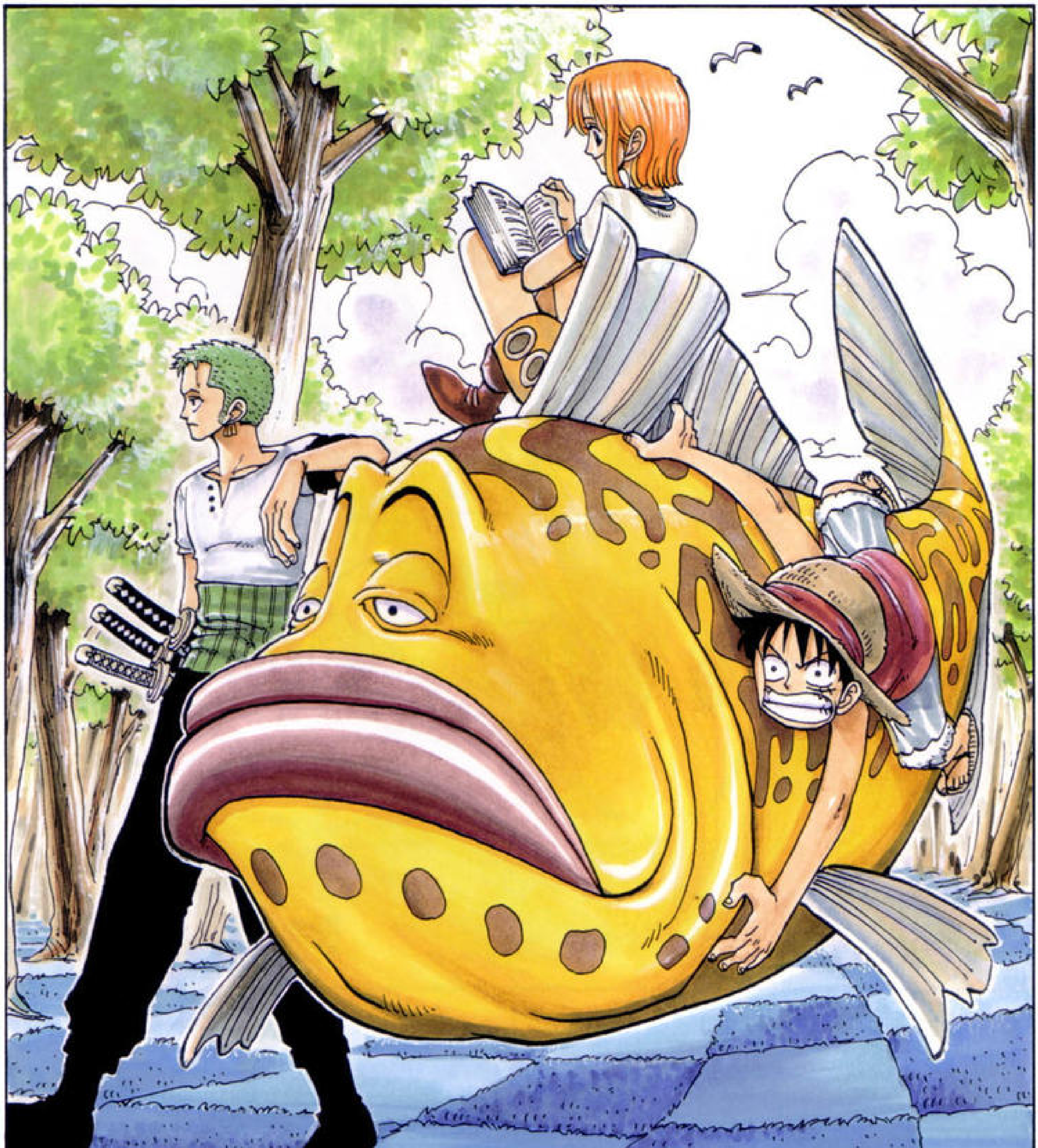
でも
窮屈な檻から
出られた!!
よぉし
これから
あいつら全員
ぶっ飛ばして
泥棒ナミに
航海士やって
もらうぞ!!!
にっ

1997.12.8～1998.2.16


NAVIGATION

この絵で僕が描きたかったのは、
柵の陰。
そんだけ。



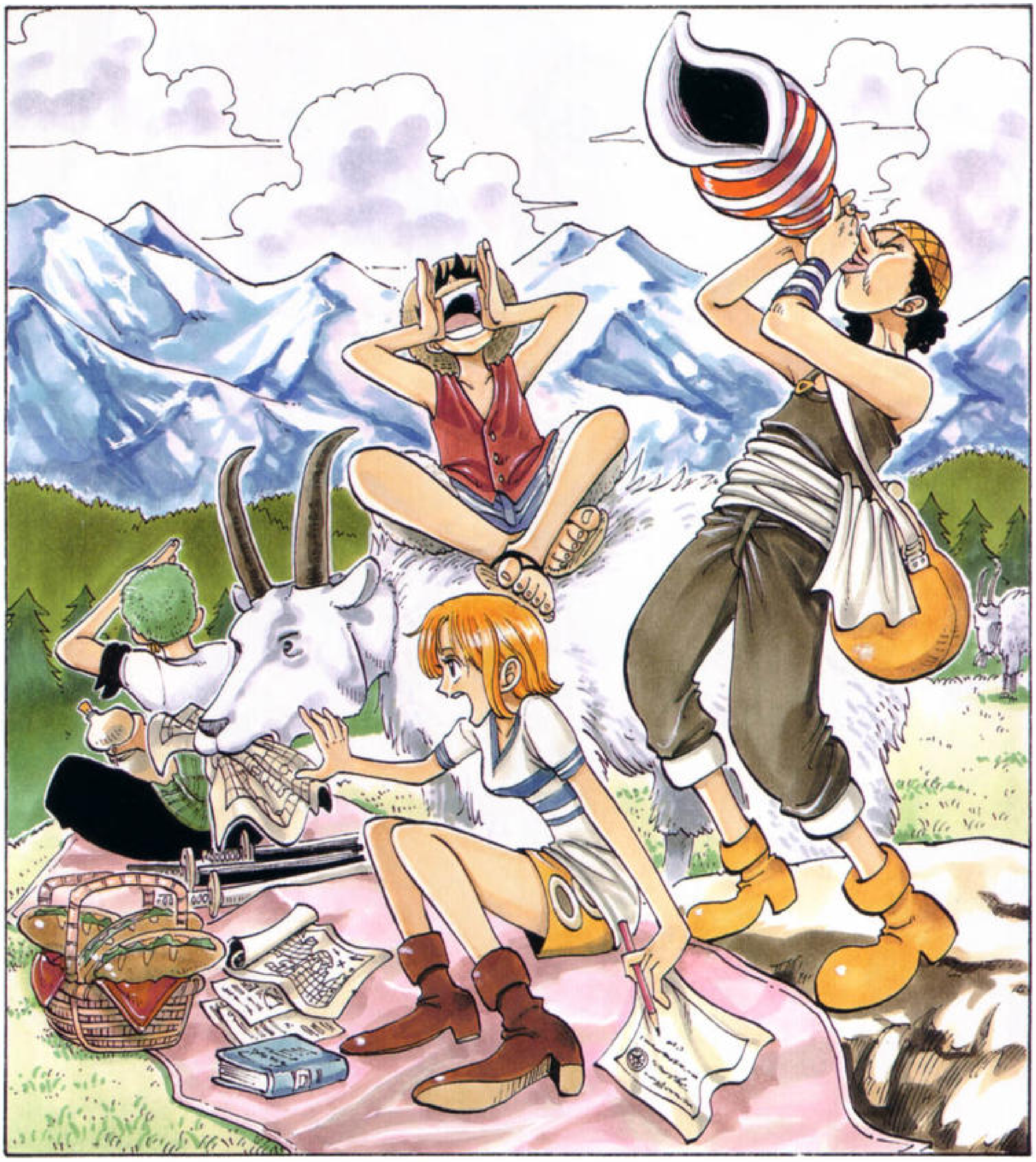


1998.2.23～1998.4.20

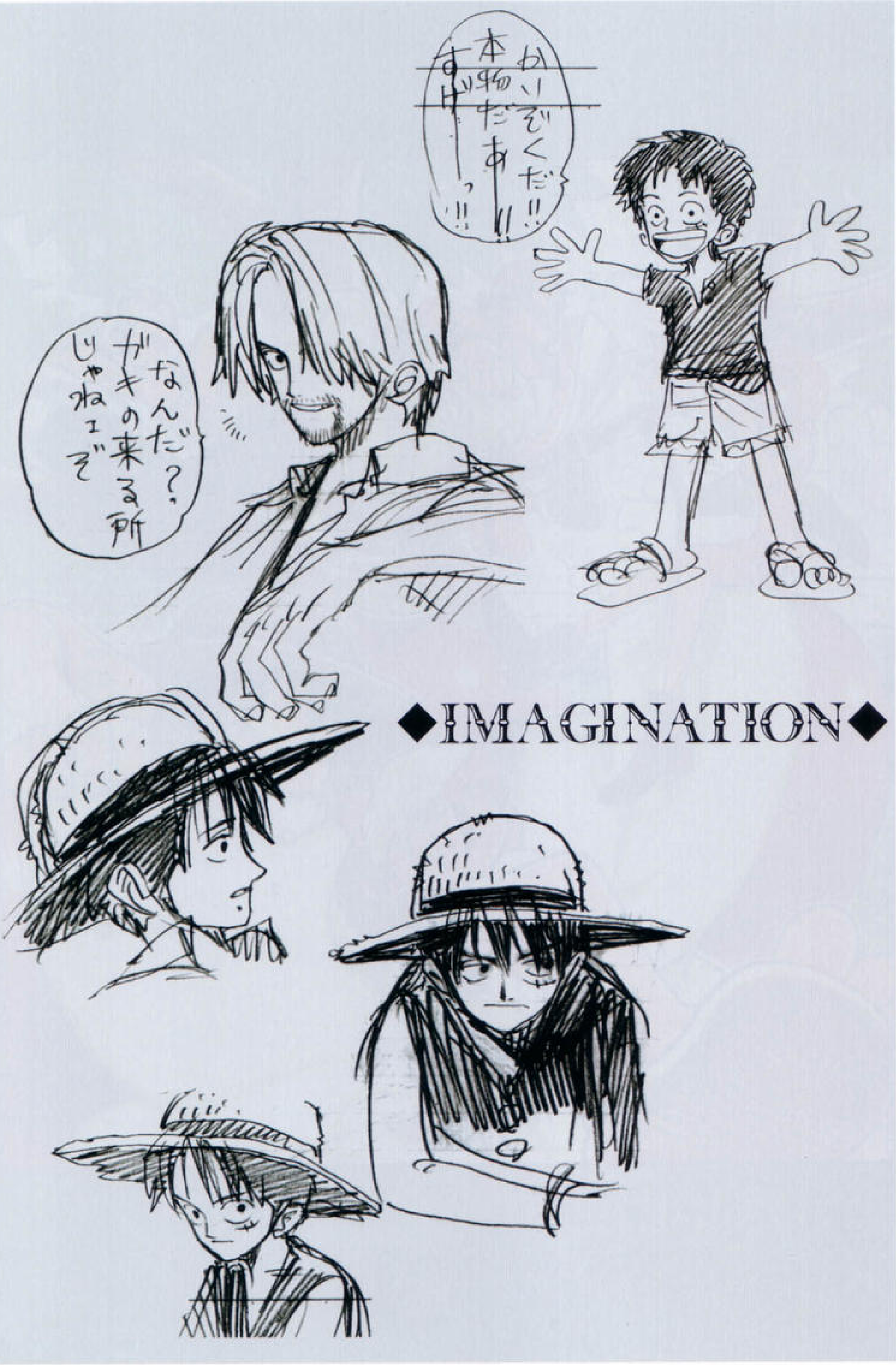
VILLAGE

このイラストは読者から
イラストのアイデアを募集して、
大賞受賞者の作品を僕があらためて
イラストに描きおこすという企画で描いたもの。
実は未だに、なぜ野菜にルフィ達の顔が
ついてんのかわからない。
でも、いい雰囲気のハガキでした。
確か「今夜はカレー」とか書きそえてあった。

1998.4.27~1998.6.29



YASOPP
ANCHOR


本物だぞ!!
かくだ!!
?!!
なんだ?
ガキの来る所
じゃねェぞ
◆IMAGINATION◆

海はアマくなりゼ

◆IMAGINATION◆

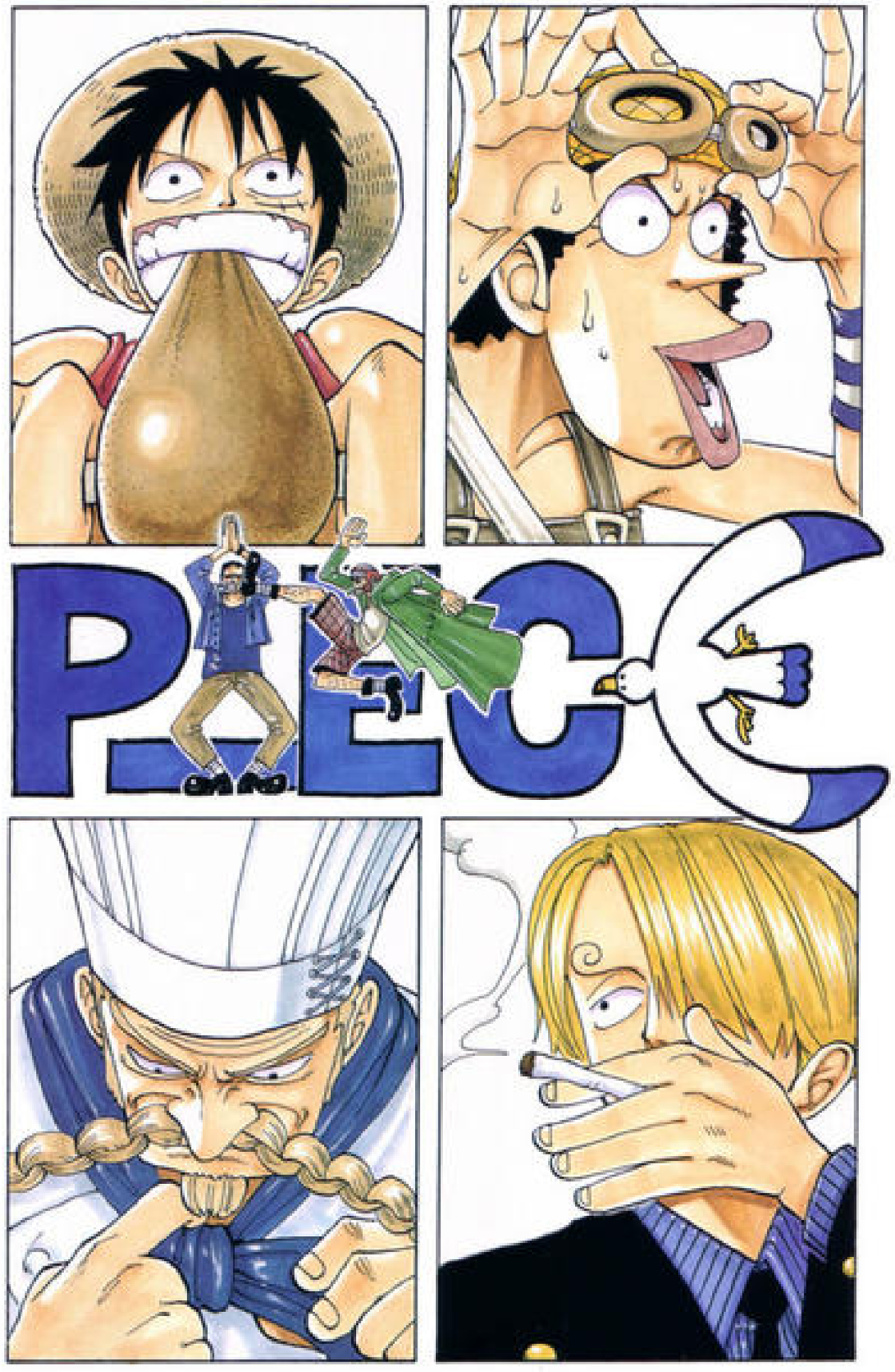
船
パレード
道化のバギー
パントマイム
pantomime
無言劇
トップ
ビッグトップ
big·top
サーカス小屋
ZIRKUS
ビッグ
ZIRKUS

si village

1998.7.6~1998.9.7

Baratie the R

ONE
ワン
ピース


PIECE

物語は“東の海(イーストブルー)。中盤(ちゅうばん)の山場。
レストランバラティエを襲うクリーク海賊団。
突然逃げ出すナミ。
現れる世界最強の剣士。
それに挑むゾロ。
最悪の事態は最悪の事態を呼び、たたみかける。
世の中本当、こういうもんだとしみじみ思いつつ、
描いた絵(コラ)。

MARINE

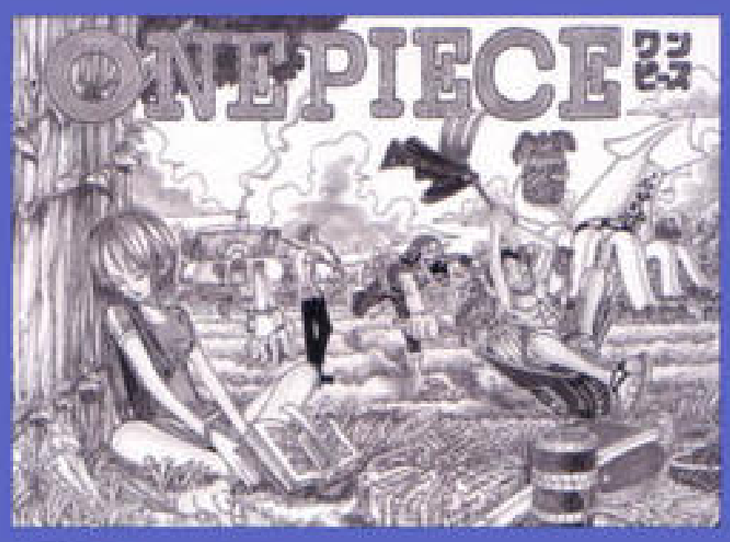
Cono ds

coyasi village

1998.9.14~1998.11.9

Barati ne restaura sea

ONE PIECE ワンピース



畑仕事はいいよなー。
本物の農家の人達は大変なんでしょうけど、
イラストに大切なのは世間(せけん)のイメージ。
のんびりと和やかに。
今午前11時47分。
もうすぐ昼メシだ。

船を下りろ?
やなこった

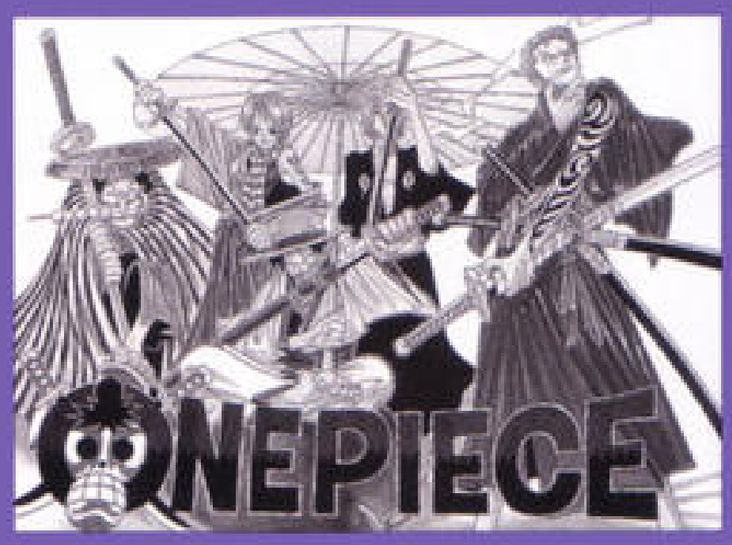
Cons

yasi village

1998.11.16～1999.1.31

ratie taur

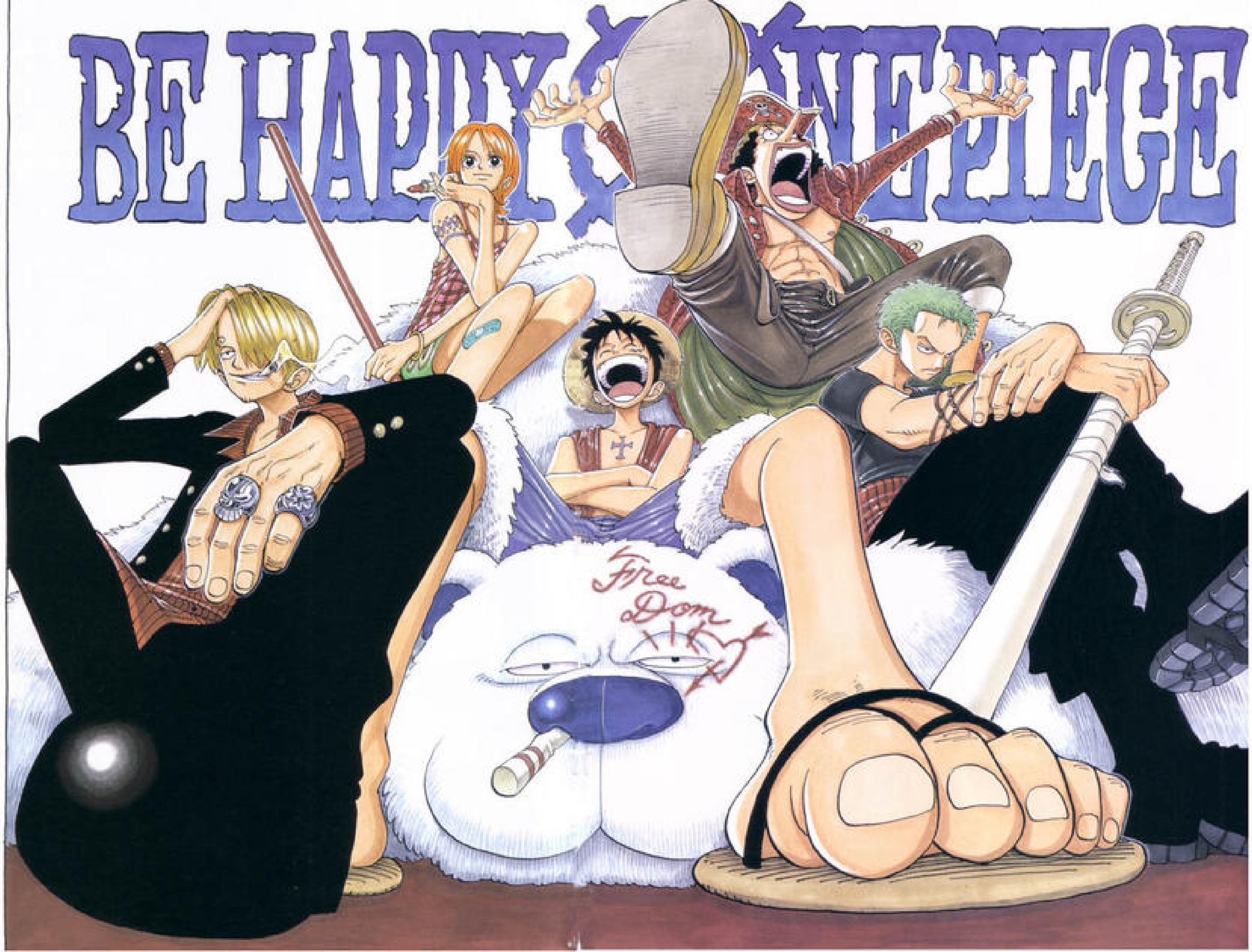
ONEPIECE



カラーの仕事が入った週に、
古本屋で古い侍の本を見つけた。
そりゃ描くでしょ。侍。

PARATIES

BE HAPPY ONE PIECE



ルフィが村を出て、
一人増え、二人増え…五人集まり
集まってやっと海賊団らしくなってきた。
連載前は、もっと簡単に
仲間は集まる予定だった。
でもまあいいか。
BE HAPPY。楽に行こう。

MERRY CHRISTMAS

斬り込むか？

1999.2.1～1999.4.5

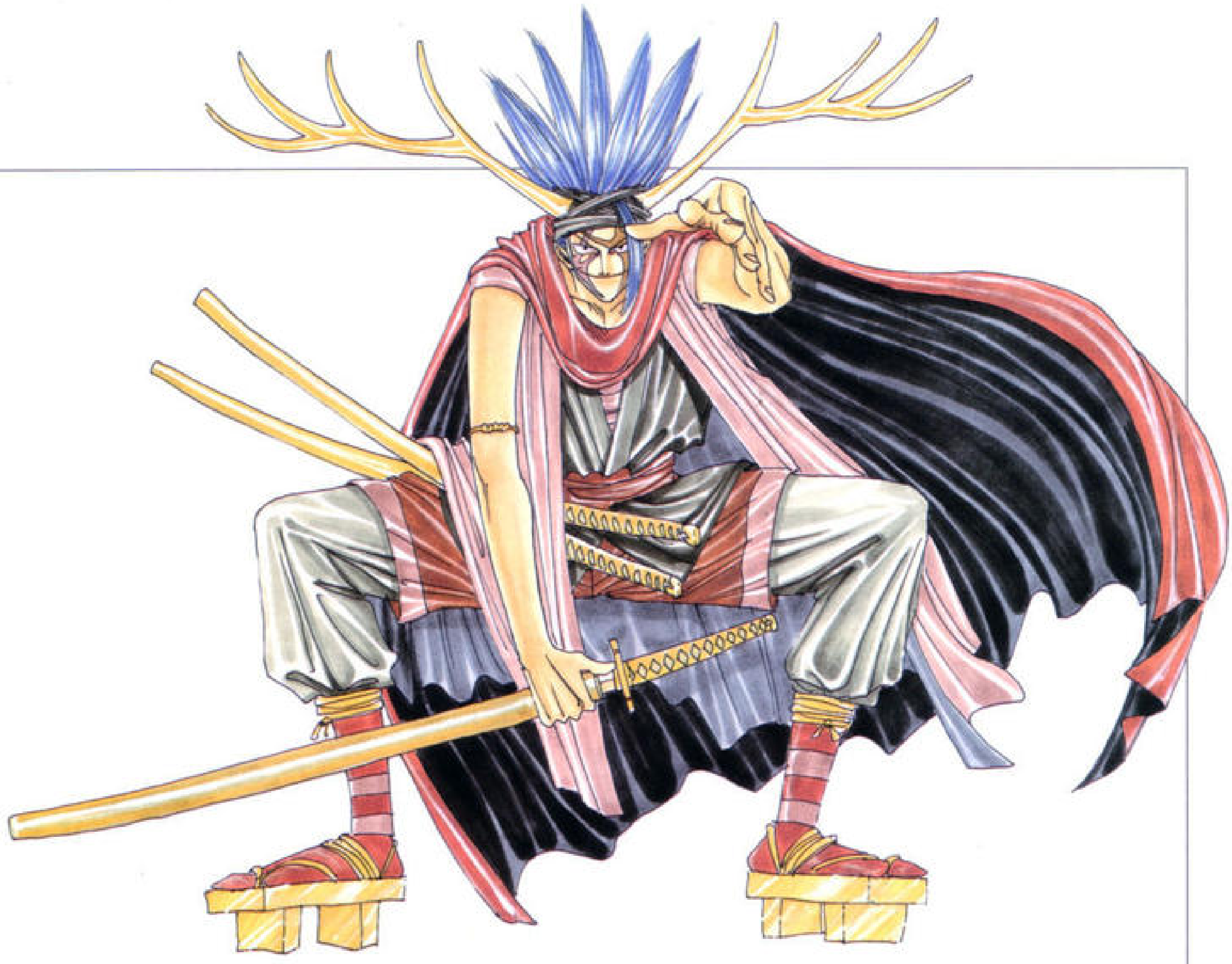
Cocoyasi village

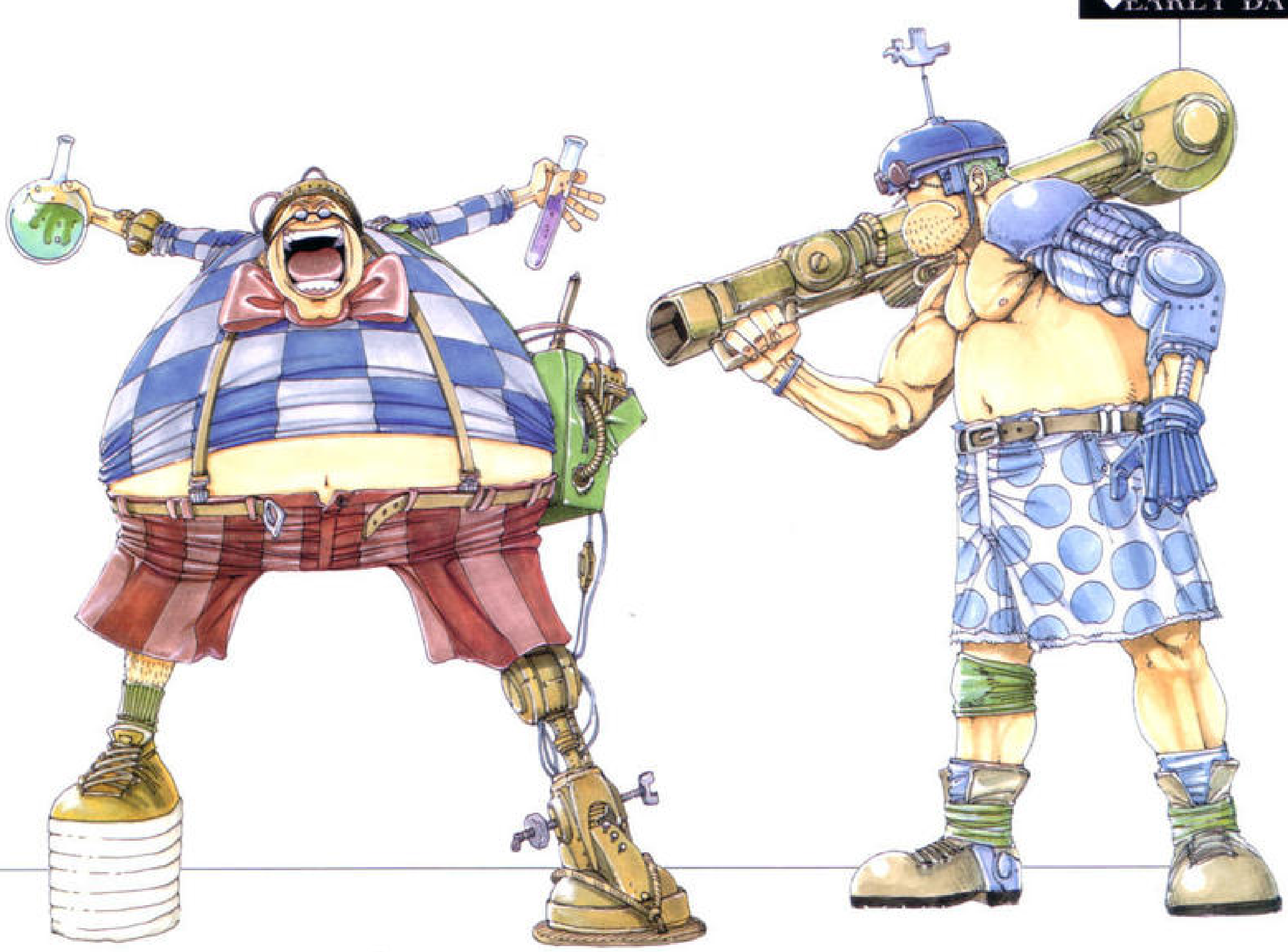
ワンピース

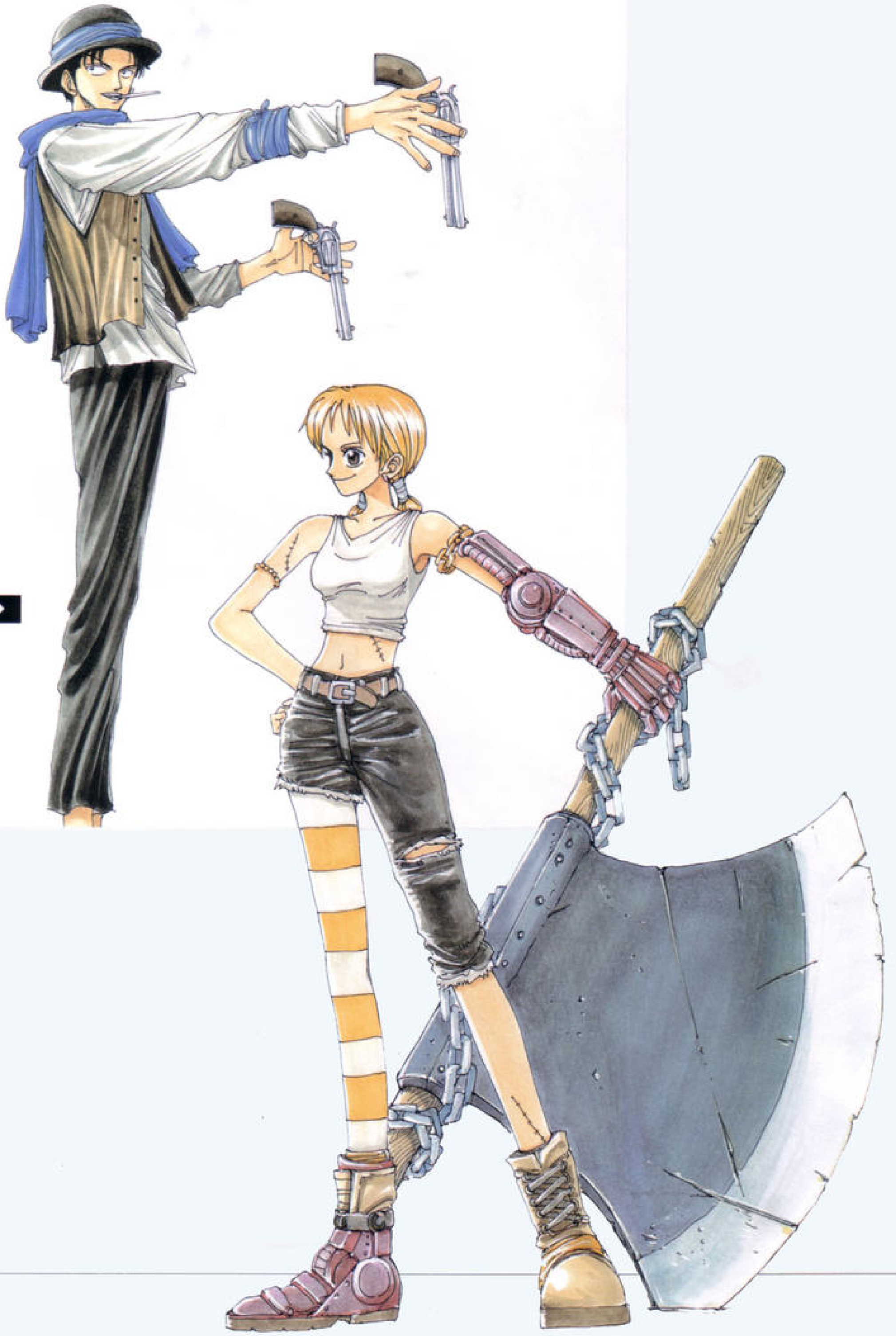
ONE PIECE

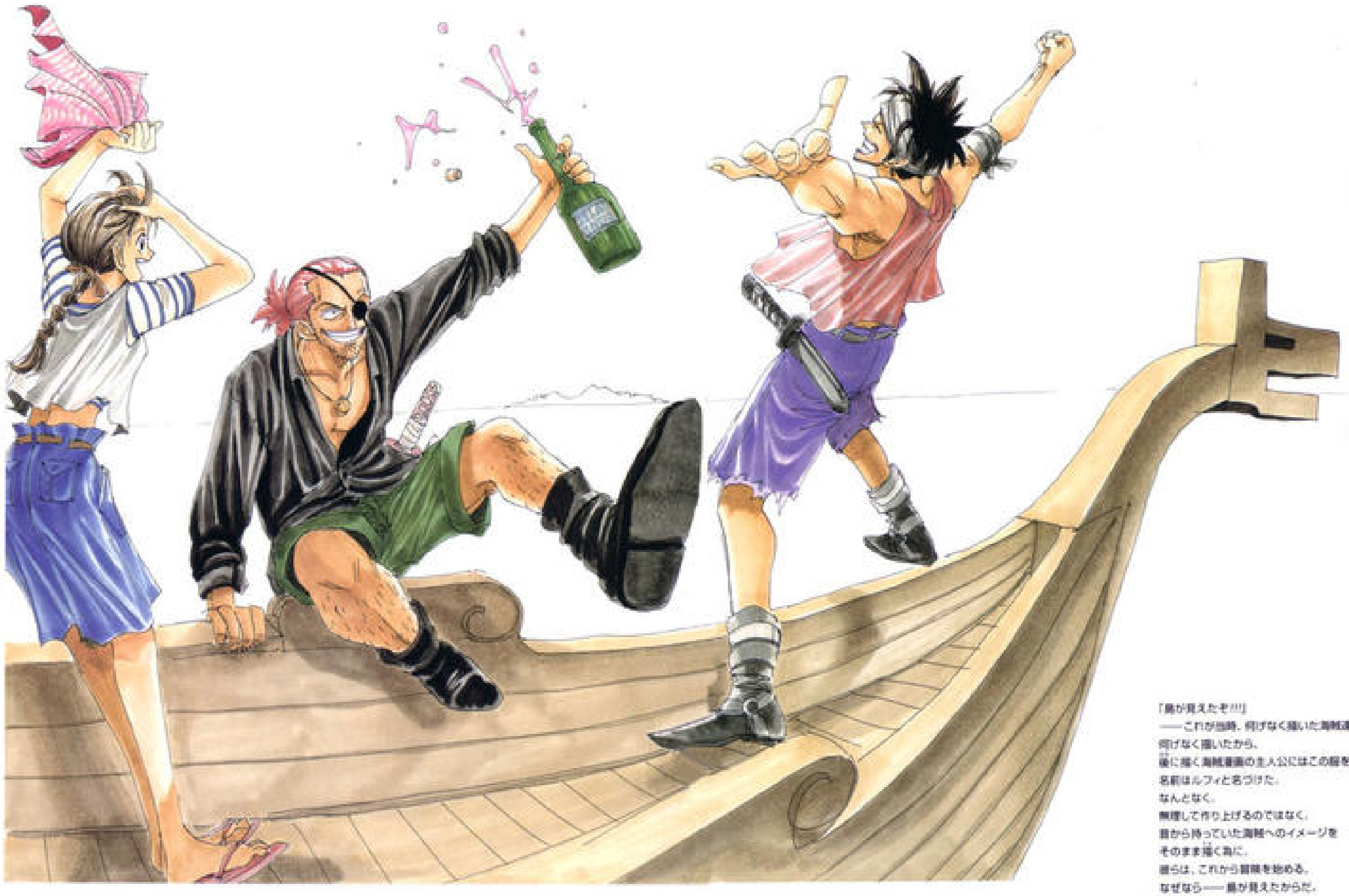
西部劇風の絵を描こうと思った。
だけどこの世界にアメリカはない。
たぶん。*西の海(ウエストブルー)。の
どこかの荒野に行ったんだと思います。

◆EARLY DAYS◆

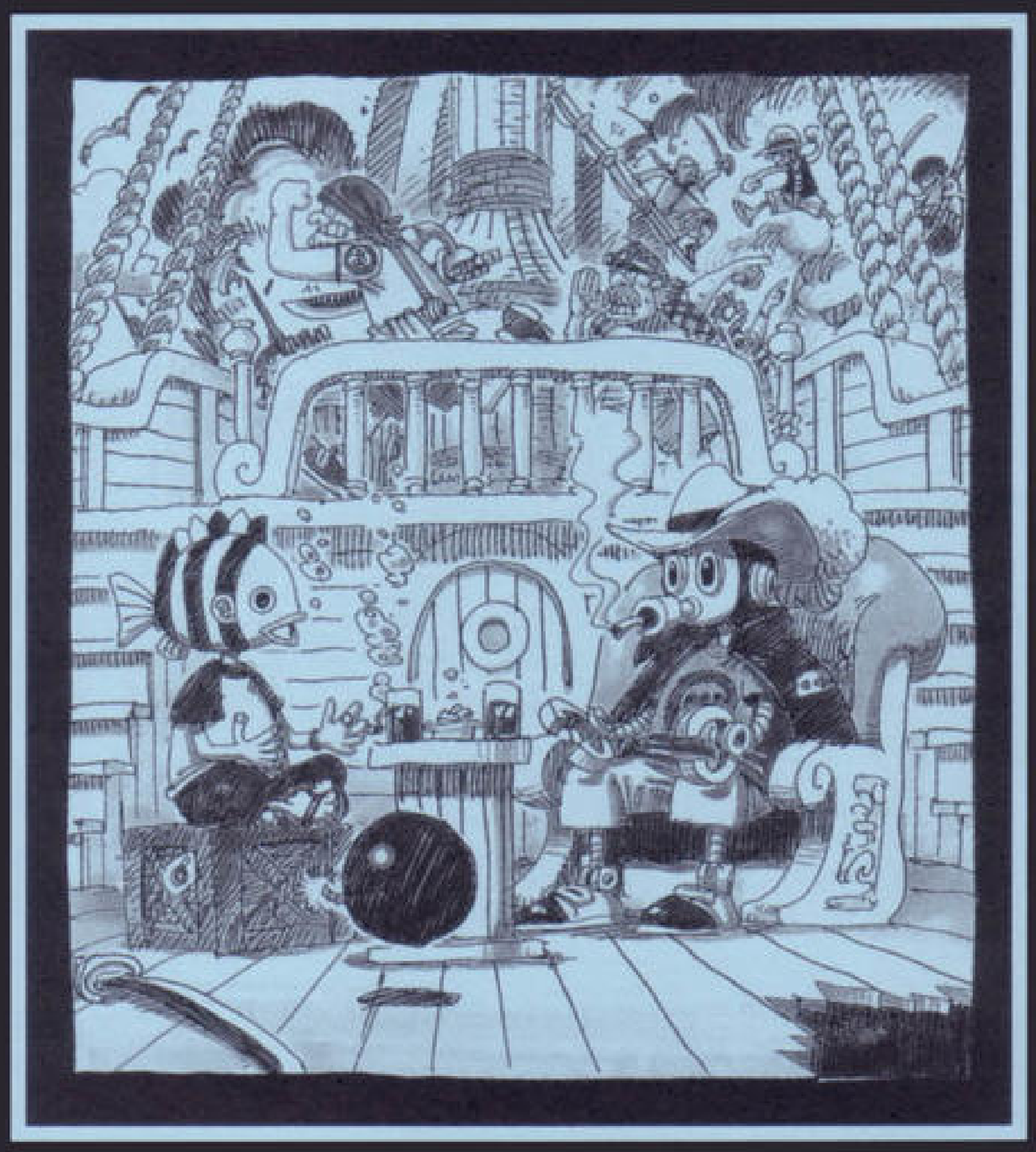








「島が見えたぞ!!!」
——これが当時、何げなく描いた海賊達。
何げなく描いたから、
後に描く海賊漫画の主人公にはこの服を使った。
名前はルフィと名づけた。
なんとなく。
無理して作り上げるのではなく、
昔から持っていた海賊へのイメージを
そのまま描く為に。
彼らは、これから冒険を始める。
なぜなら——島が見えたからだ。



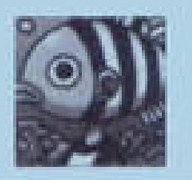
2人のクリエーターの、イラストにかける想いが交差する…

MONOCHROME TALK

魅力的なキャラクター、そして夢と冒険に満ちた世界を生み出す
尾田栄一郎先生が、尊敬してやまないのが鳥山明先生だ。
このたび尾田先生たっての希望で実現した、夢の対談。
生まれた土地も年齢もちがう2人だが、マンガに、そして
イラストにかける情熱を共通項として、両者のトークは大いに盛りあがった！

鳥山明
AKIRA TORIYAMA

尾田栄一郎
EIICHIRO ODA



「ディズニーよりうめぇ」って思いましたもん

（尾田）

――それではまず、尾田先生の、鳥山先生に対する想いを教えて下さい――

尾田：そりゃぁもう、神様ですね。次元が違います。とにかく絵が上手すぎますね！

鳥山：なーんかオレ、居心地が悪いんだけど（爆笑）

尾田：実はぼく、「アラレちゃん」（※注1）はぜんぜん読んでなかったんですよ。鳥山先生の漫画との出会いは、「ドラゴンボール」（※注2）の二話目だったんですけれど、見て一目ほれしましたね。「上手すぎ！」って。ぼく、ディズニーが大好きだったんですけれど、「ディズニーよりうめぇ！」って思いましたもん。天下一武道会でランファン（※イラストA）っていたの、おぼえてます？

鳥山：おー、いたいた！

尾田：「おぼえてます？」って聞くのも変だけれど、色んなキャラ、忘れていられるみたいだから（笑）。で、ランファンが服、脱いだじゃないですか。あのときのワキが、すっげえ上手かったんですよ。ぼく、こんなにちゃんとワキ描くひと、はじめてだと思いましたもん。ワキばっかりそのとき描いてましたね、あのころのぼくは。あと、白桃桃（※イラストB）の手ですね。

ぼくにとって、鳥山先生は神様みたいな存在。次元がちがいます!!

Eiichiro Oda

鳥山：タオパイパイ……？　ちょっとビミョーなキャラになってきたぞ。

尾田：エー!?　白桃桃なんて、めちゃくちゃメジャーなキャラじゃないですかぁ。

鳥山：おさげのヤツ？

尾田：そうそう、殺し屋ですよ。柱飛ばして、自分で乗っていくヤツです。

鳥山：あー、描いた描いた。

尾田：アイツの構えたときの手が、すんごい上手かったんですよ。そのときはまた、手ばっかり描いてましたから。それが「ドラゴンボール」の2大衝撃ですよ、ぼくの。ワキと手。

鳥山：でもね、「ドラゴンボール」もだんだん筋肉質なキャラが増えてきたじゃない。（筋肉の造型の）勉強しなきゃって思いつつ、いまきゃ勉強しなきゃって思いつつ、いまだにやっていないのが心のこりなんけどビ…。

尾田：鳥山先生が描くキャラの筋肉のつきかた、めちゃくちゃカッコよかったですよ！　「キン肉マン」（※注3）って。「すげっ」って思いましたもん（笑）。

鳥山：かっこばっかり意識しちゃって、筋肉としてはデタラメだと思うんだけれどね。

尾田：いやいや、完璧ですよ。先生の描く女の子とかも、けっこう筋肉質じゃないですか。あれもね、逆に色っぽかったりするんですよね。

鳥山：あれは単に、ぼくが女の子を描くの苦手なだけなんだけど（苦笑）。

VS. EIICHIRO ODA

B

←「ドラゴンボール」に登場する、一流の殺し屋。天下無双の強さをほこっていたが、主人公の悟空に倒される。

A

←「ドラゴンボール」に登場する女性格闘家。天下一武道会では、戦闘中に服を脱いで、相手を惑わす作戦に出た。

（※注1）「Dr.スランプ」のこと。鳥山先生の初連載作品。

（※注2）'84～'95年にわたってWJで連載された、鳥山先生の代表作。集めると願いがかなう不思議な珠「ドラゴンボール」をめぐる冒険活劇。

（※注3）WJで連載していた、人気格闘漫画。

メカデザインは、推進力とか一応考えてるよ

（鳥山）

尾田：そうそう、鳥山先生のメカイラストは、ホントすごいですよね。

鳥山：あれもでっち上げなんだけどね、ほとんど。でも、推進力は何で、燃料タンクはどこについているとか、一応自分の頭の中だけの設計図みたいなものはあるよね。

尾田：それがすごいっすよ。ふつう、考えられませんよ。機械とか自分、ぜんぜんわからないから描けないっす。

鳥山：理論そのものはでたらめなんだけど、ヘンテコな形したメカとかでも「どう乗り込もう」とか、そのへんだけは考えるよ。

尾田：形とかは、実用性なくったっていいんですものね。

鳥山：でもね、イラストで描くのはいいんだけど、マンガで描いちゃうと、何度も登場させなきゃいけないし、面倒くさいんだよね。はりきって描くと、あとで自分の首しめちゃう。

尾田：動かさなきゃならないとかなると一大事ですもんね。そうそう、『ドラゴンボール』でピラフ一味が合体するメカ（※イラストC）に乗ってたじゃないですか？

鳥山：？？？？

尾田：乗ったんです。あれ、3つのメカが合体して感動したんですよ！

「すげー」って。で、2体でくっつくとダチョウ型になるんですよね。

鳥山：へ～。乗り物？

尾田：うん。

鳥山：ロボット？

尾田：うん。

鳥山：あ～、描いたような気がする。

尾田：変形まで考えられてるって。

鳥山：そんなことまで考えたのか～。

尾田：え～、考えてました（笑）。

いま思うと、何でこれなんだろ？

（鳥山）

――ご自分でそれぞれおぼえてる範囲で、「これは会心の出来だ」というイラストは何ですか？――

鳥山：会心の出来!?

尾田：ぼく知ってます。たぶん鳥山先生はおぼえてないと思いますけど。そういうコメント、読んだことあります。

鳥山：ほんと？

尾田：なんかのインタビューで、言ってましたもん。

鳥山：これ（※イラストD）？（と、イラストを指さす）

尾田：あたりです（笑）。それだけが気に入ってるって…じゃあほかのはどうなんだろうって思いましたもん。

鳥山：そうそう、言った言った、これが会心の出来だって！　それもいま見ると、何でこれだったのかなーって思うけど。

尾田：そうそう、2体でくっつくとダチョウ型になるんですよね。

鳥山：へ～。乗り物？

尾田：うん。

鳥山：ロボット？

尾田：うん。

鳥山：あ～、描いたような気がする。

尾田：変形まで考えられてるって。

鳥山：そんなことまで考えたのか～。

尾田：え～、考えてました（笑）。

鳥山：理論そのものはでたらめなんだけど、ヘンテコな形したメカとかでも「どう乗り込もう」とか、そのへんだけは考えるよ。

尾田：形とかは、実用性なくったっていいんですものね。

鳥山：でもね、イラストで描くのはいいんだけど、マンガで描いちゃうと、何度も登場させなきゃいけないし、面倒くさいんだよね。はりきって描くと、あとで自分の首しめちゃう。

尾田：動かさなきゃならないとかなると一大事ですもんね。そうそう、『ドラゴンボール』でピラフ一味が合体するメカ（※イラストC）に乗ってたじゃないですか？

鳥山：？？？？

尾田：乗ったんです。あれ、3つのメカが合体して感動したんですよ！

尾田：それがすごいっすよ。ふつう、考えられませんよ。機械とか自分、ぜんぜんわからないから描けないっす

どうしてみんなが『ONE PIECE（ワンピース）』ってさわぐのか、よくわかった!!

Akira Toriyama

プロフィール：1955年4月5日、名古屋市生まれ。広告系のデザイン会社勤務をへたのち、週刊少年ジャンプで漫画家デビュー。『Dr.スランプ』や『ドラゴンボール』など、かずかずの超ヒット作を世に送り出した。

鳥山：あの読者がめちゃめちゃ喜ぶような発想は自然にでてくるの？　それとも読者に合わせようと思ってるの？

尾田：両方です。

鳥山：例えばウケを狙わずに描いたとしたら、やっぱり変わってくる？

尾田：変わるかもしれないけど、でも、ぼくはみんなに喜んでもらうこと自体が好きですから。

鳥山：うん、その辺も似てるな～。

尾田：お――！　すっごい小さい頃から漫画家になることを決めていたから、読者時代から「漫画家になったらこういうのを描こう」って思ってたんですよ。そのストックがたくさんあって、読者としてのデータが、ぼくの中に入っているんです。だから、こういうのを描いたら（読者は）嬉しいだろうなっていうのはあります。残念ながら、今のぼくの感覚は少年と一緒ってことはないですけど、「昔のぼくが読んだら嬉しいだろうな」って思いながら描いてますから。

鳥山：それ、すっごく大切だよね。わりと意識して自分を子供のころの自分にしてるよね。

尾田：ええ。だから、人にどうこうデータを言われても信用できないけど、自分が幼い頃これ読んだら嬉しかったって思えたら、自信をもって世に出せます。

――ルフィを作る時に考えた事は？――

尾田：男気ですね。ドラゴンボールって子供が喜びそうなこと全部やっちゃってるんですよ（笑）。それにぶつからないためのT軸として。

鳥山：でも、冒険モノをちゃんと読ませるよね。ロードムービーぽいのって難しいから。あの「男の世界」って感じがいいよね。

尾田：そうです。男の世界ってみんな照れますけど、絶対みんな好きだと思います。

鳥山：ぼくもね、描いてて「くせ～っ」て思うんだけど。

尾田：でも、喜んでくれるから。

鳥山：ついつい描いてそうなっちゃうよね。

ぼくは先生が絵を描いてくれるだけでうれしい
（尾田）

尾田：お――！　すっごい小さい頃から漫画家になることを決めていたから、読者時代から「漫画家になったらこういうのを描こう」って思ってたんですよ。そのストックがたくさんあって、読者としてのデータが、ぼくの中に入っているんです。だから、こういうのを描いたら（読者は）嬉しいだろうなっていうのはあります。残念ながら、今のぼくの感覚は少年と一緒ってことはないですけど、「昔のぼくが読んだら嬉しいだろうな」って思いながら描いてますから。

鳥山：それ、すっごく大切だよね。わりと意識して自分を子供のころの自分にしてるよね。

尾田：ええ。だから、人にどうこうデータを言われても信用できないけど、自分が幼い頃これ読んだら嬉しかったって思えたら、自信をもって世に出せます。

――ルフィを作る時に考えた事は？――

尾田：男気ですね。ドラゴンボールって子供が喜びそうなこと全部やっちゃってるんですよ（笑）。それにぶつからないための上軸として。

鳥山：でも、冒険モノをちゃんと読ませるよね。ロードムービーぽいのって難しいから。あの「男の世界」って感じがいいよね。

尾田：そうです。男の世界ってみんな照れますけど、絶対みんな好きだと思います。

鳥山：ぼくもね、描いてて「くせ～っ」て思うんだけど。

尾田：でも、喜んでくれるから。

鳥山：ついつい描いてそうなっちゃうよね。

動いているのに落ちついてるのがすごい

（尾田）

―尾田先生が思う、鳥山先生のベストイラストは何ですか？―

尾田：コミックスの2巻の表紙（※イラストE）とか好きでしたね。色が渋くてカッコいいんですよ。

鳥山：色紙に描いてるんだよね、これ。「白い紙になんて、描いてらんないよ！」とかいいながら。5週連続カラー（※注4）のひとつだ。

尾田：うっそ!?　5周連続、カラー!!!

鳥山：やらされたんだよ！　鳥嶋さん（※注5）に。あの人、メチャメチャさせるんだよ（笑）!!

尾田：5週連続はきつい！　2週でいっぱいいっぱいですよ。

鳥山：何でこのイラストが好きなの？

尾田：動いているのに、落ちついている感じですかね。イラスト全体の雰囲気が、すごくカッコいいんです。

現実にあるものを描いちゃうと、大変だよね

（鳥山）

―これまで多くのイラストを描いてきたお2人ですが「これは苦労した」というイラストはありますか？―

鳥山：あのね、なまじ実際にある戦車とか車とか描いちゃうと大変だな、と思ったね。まちがっちゃいけないから。（デザインなどを）考えるのが面倒くさい時ってついつい実在のモノ描いちゃうんだけど、かえって大変だよね。

尾田：だから、現代モノ描いてる人って大変だと思う。

鳥山：思う思う。このイラスト（※イラストF）とか、めちゃめちゃ大変だった。このバイク、現実にあるやつだったから。やっぱり現実にあるやつはダメだね。

尾田：ダメってことは…（苦笑）。

鳥山：尾田くんは、苦労したイラストは？

尾田：ぼくは、描いたら全部気に入るから。イラスト描くの、楽しいし。しめきりギリギリまで描いてて編集部の人にもってかれちゃったら「まだ本当は手ばなしたくない」って思うもの。

鳥山：えらい！　ここがオレとの決定的なちがいだな～。そうだったら、楽しいだろうな。

悪いヤツがよくなるのは王道だけど、気持ちいい

（鳥山）

―それではここからキャラのお話を。それぞれ、ご自身の漫画のお気に入りのキャラを教えていただけますか？―

鳥山：ぼくはピッコロ（※イラストG）かな。「こいつ、恐い顔してかっこいいじゃん」って！　はじめて自分の漫画で思ったかな。悪いヤツがよくなるってのは王道なんだけど、やっぱ描いてて気持ちいいよな！

尾田：そうですね、読んでいるほうも嬉しいですし。わかってても嬉しいってのありますよね。

鳥山：うんうん。尾田くんが自分の漫画で好きなキャラは？

尾田：ぼくは…ルフィはもちろん好きですよ。でも、いちばん気に入ってるのはガイモンさん（※イラストH）。あの発想は、なかなか超えられないですよ。20年、宝箱にはまりつづけた男。

鳥山：あの設定はどうやって思いついたの？

尾田：最初は樽だったんですけど。どういう経緯かは、今ではさっぱり（笑）。

鳥山：尾田くんはキャラを作るとき、きみたいにして描くじゃないですか。そしたら、必ずセリフを書くんですよ、意識してなくても自然に。そいつが最初にしゃべった言葉は、あとあとまで活きますね、そいつのキャラに。

尾田：「こいつはこういうことしゃべりそう！」っていうところから、キャラがたっていくんです。

鳥山：わかるわかる!!　お互い意気込みはちがうけど、発想は似てるよね！

尾田：ホントですか（大喜び）！　よ、よかった～!!

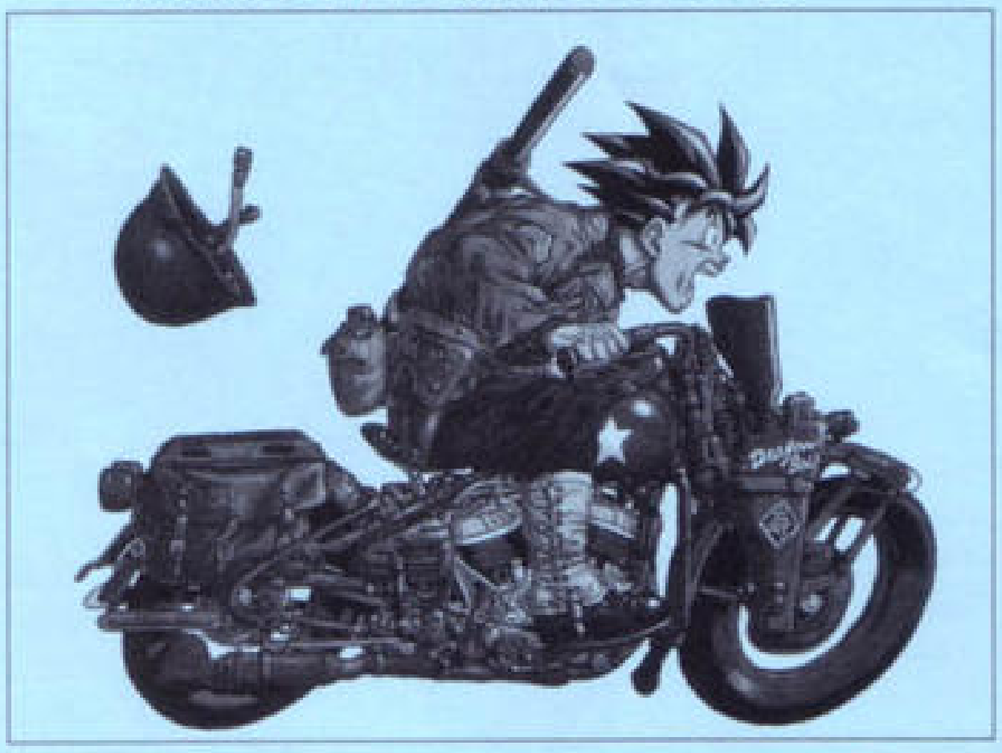
VS. EIICHIRO ODA

E

→『ドラゴンボール』第19話、扉絵用のカラーイラスト。コミックス2巻の表紙としても使われている。

F

↓全国の美術館で開かれた「鳥山明の世界展」のカタログ用の描きおろしイラスト。全体を淡い色でまとめている。



INDEX

51P 週刊少年ジャンプ
1998年22・23合併号表紙

41P JC第3巻
作者イラスト

33P 週刊少年ジャンプ
1997年50号

22P 週刊少年ジャンプ
1997年50号8才ポスター

16P 週刊少年ジャンプ
1997年34号

52P 週刊少年ジャンプ
1998年26号

41P 週刊少年ジャンプ1998年
4・5合併号カレンダー

33P 週刊少年ジャンプ
1997年46号

25P 週刊少年ジャンプ
1997年50号表紙

16P 週刊少年ジャンプ
1997年34号

6P 週刊少年ジャンプ
1997年34号

53P 週刊少年ジャンプ
1998年26号表紙

43P JC第4巻カバー

33P 週刊少年ジャンプ
1997年46号

26P 週刊少年ジャンプ
1997年46号

16P 週刊少年ジャンプ
1997年34号

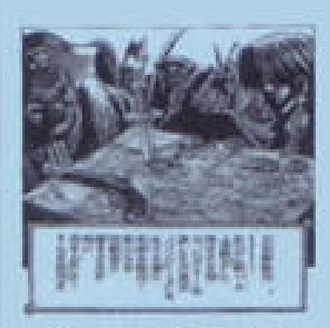
9P JC第1巻カバー

54P 週刊少年ジャンプ
1998年29号表紙

44P 週刊少年ジャンプ
1998年12号

35P JC第3巻カバー

29P 週刊少年ジャンプ
1997年51号

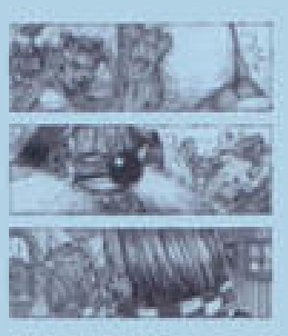

17P 週刊少年ジャンプ
1997年41号

10P 週刊少年ジャンプ
1997年34号

55P 週刊少年ジャンプ
1998年29号

46P 週刊少年ジャンプ
1998年17号表紙

36P 週刊少年ジャンプ1998年
4・5合併号カレンダー


30P 週刊少年ジャンプ
1997年50号

17P 週刊少年ジャンプ
1997年34号

12P 週刊少年ジャンプ
1997年34号表紙

60P 週刊少年ジャンプ
1998年30号

47P 週刊少年ジャンプ
1998年16号

38P JC第3巻中扉

31P 週刊少年ジャンプ
1997年46号表紙

18P JC第2巻カバー

13P 週刊少年ジャンプ
1997年34号表紙

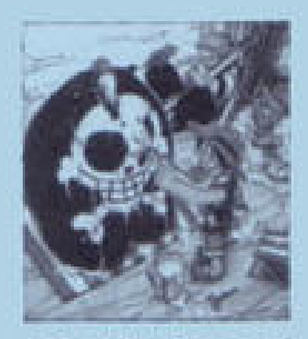
62P 週刊少年ジャンプ
1998年37・38合併号

49P JC第5巻カバー

39P 週刊少年ジャンプ
1998年6号

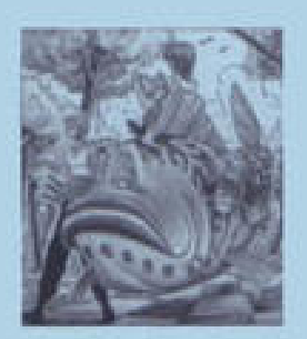
32P 週刊少年ジャンプ
1997年46号

20P JC第2巻
作者イラスト


15P 週刊少年ジャンプ
1997年41号

64P JC第6巻
作者イラスト

50P 週刊少年ジャンプ
1998年22・23合併号


40P 週刊少年ジャンプ
1998年9号

32P 週刊少年ジャンプ
1997年46号

21P 週刊少年ジャンプ
1997年46号表紙

16P 週刊少年ジャンプ
1997年34号

56P 尾田先生設定スケッチより抜粋

●デザイン　田熊樹美(Freiheit)
●編集協力　キャラメルママ
●製版　田沼　晃
●マップイラスト　早坂桂一

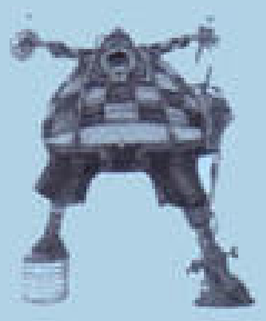
JUMP COMICS DELUXE
尾田栄一郎画集
ONE PIECE
COLOR WALK 1
2001年7月24日　第1刷発行

著　者◎尾田栄一郎

© EIICHIRO ODA 2001

編集人◎鳥嶋和彦
発行人◎山路則隆
発行所◎株式会社　集英社
〒101－8050　東京都千代田区一ツ橋2－5－10
TEL 編集　03(3230)6233
販売　03(3230)6191
制作　03(3230)6076
印刷所◎共同印刷株式会社

造本には十分注意しておりますが、落丁・乱丁の場合はお取り替え致します。購入された書店名を明記して小社制作部宛にお送り下さい。送料は小社負担でお取り替え致します。但し、古書店で購入したものについてはお取り替えできません。本書の一部または全部を無断で複写、複製することは、法律で定められた場合を除き、著作権の侵害となります。



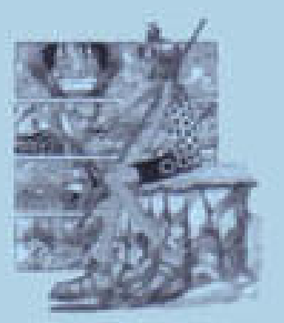
96P 尾田先生
設定スケッチより抜粋

87P 週刊少年ジャンプ
1999年6号

76P 週刊少年ジャンプ
1999年6号

65P 週刊少年ジャンプ
1998年34号

97P 尾田先生
設定スケッチより抜粋



88P JC第9巻カバー

79P JC第8巻
作者イラスト

66P JC第7巻カバー

97P 尾田先生
設定スケッチより抜粋

90P 週刊少年ジャンプ
1999年15号表紙

80P 週刊少年ジャンプ
1998年50号

68P 週刊少年ジャンプ
1998年47号

98P 尾田先生
設定スケッチより抜粋

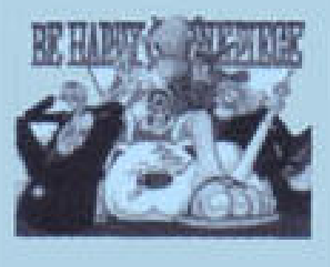
91P 週刊少年ジャンプ
1999年15号表紙

81P 週刊少年ジャンプ
1999年4・5合併号表紙

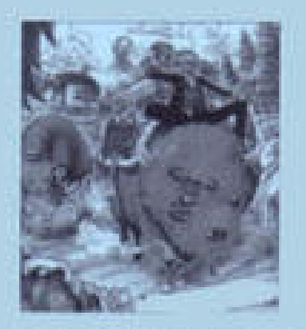
70P JC第7巻
作者イラスト

100P 尾田先生
設定スケッチより抜粋

92P 週刊少年ジャンプ
1999年15号



82P 週刊少年ジャンプ1999年
4・5合併号付録ポスター



71P 週刊少年ジャンプ
1998年42号

100P 尾田先生
設定スケッチより抜粋

95P 尾田先生
設定スケッチより抜粋

84P 週刊少年ジャンプ
1999年6号表紙

72P 週刊少年ジャンプ
1998年42号

96P 尾田先生
設定スケッチより抜粋

85P 週刊少年ジャンプ
1999年4・5合併号

73P 週刊少年ジャンプ
1998年47号表紙

96P 尾田先生
設定スケッチより抜粋

86P 週刊少年ジャンプ
1998年50号表紙

75P JC第8巻カバー

子供の頃
絵が好きで描いていたら、ほめられた。
調子に乗って、漫画家になると宣言した。
この時、絵で最強の男になろうと思った。
この世で一番絵のうまい奴が
一番すごい漫画家だと思ったから。
中学の時
写生大会で、大満足の写真の様な絵を描いた。
特選で当たり前だと思ったけど、入選。
特選の絵は、中学生らしい元気いっぱいの絵だった。
17の時
漫画家になる為に"自分の絵"を作りあげた。
これも当然大満足。
「変わった絵だねー」評価はその程度。
絵のうまさに正解はなく、これによって
漫画家になる為に何をすればいいのか
わからなくなった。
19の時
初めてファンレターというものを貰った。
見ず知らずの人が自分の漫画をほめてくれた。
ほんとに嬉しかった。
人が喜んでくれるものを作り出す事。
その根本を思い出した。
漫画は、読んでくれるみんなの為に描きます。
だけどたまに、みんなに伝わらない様な
自己満足なものを描いたとしても、
まあ、それはそれで、

許してチョンマゲ。

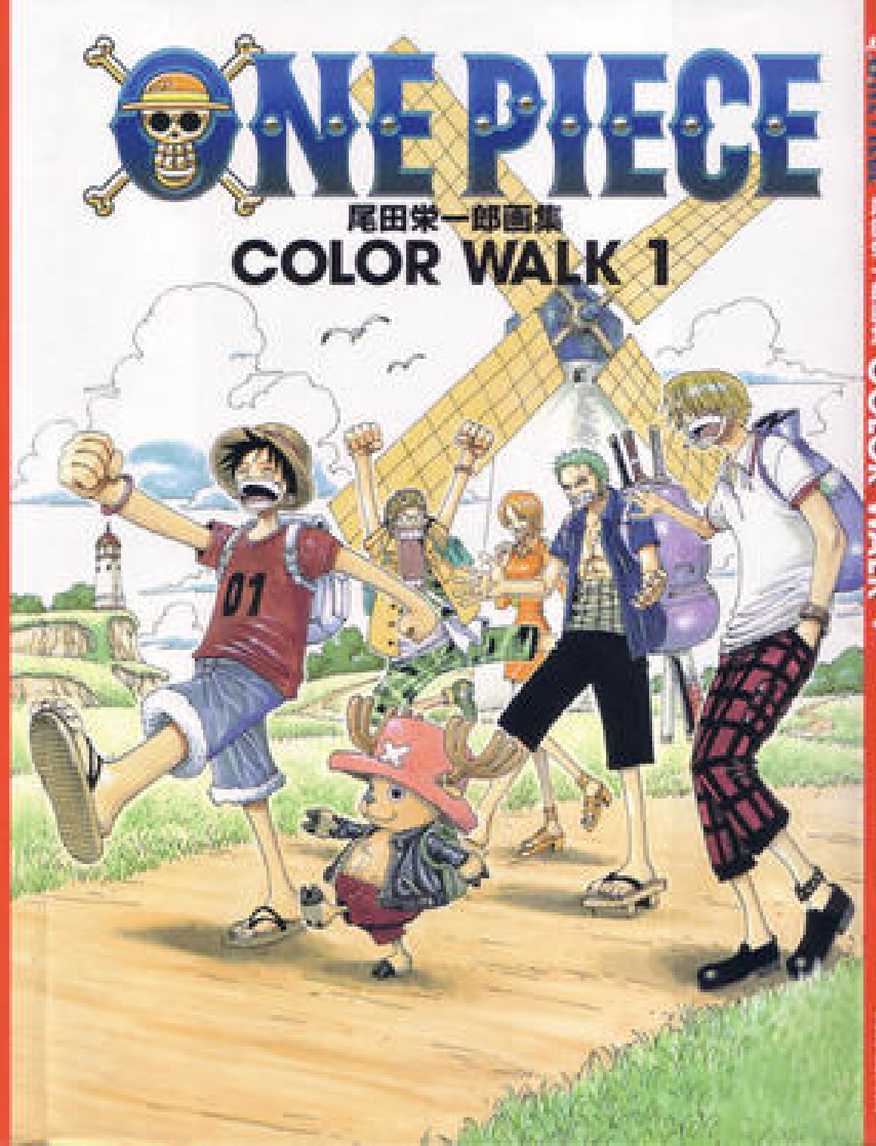
この本を買ってくれて、どうもありがとう。

Eiichiro Oda.

●EIICHIRO ODA

1975年1月1日、熊本県熊本市に生まれる。
高校在学中の1992年に
集英社週刊少年ジャンプ"第44回手塚賞"に応募、
「WANTED」で準入選を受賞。
1993年には「一鬼夜行」で
"第104回ホップ☆ステップ賞"に入選。
その後も数々の読み切り漫画をジャンプ誌上で発表し、
1997年「ONE PIECE」の連載を開始、現在に至る。

(主なコミックス出版物)
ジャンプコミックス　尾田栄一郎短編集「WANTED」
ジャンプコミックス　「ONE PIECE」



尾田栄一郎画集 COLOR WALK 1

SHUEISHA

9784088592176

19299790120071

ISBN4-08-859217-4

C9979 ¥1200E

定価(本体1200円十税)

永遠のアニメ
www.eienanime.com
#eien-ni-aniyo@tch.ljhoney.com

ONE PIECE

尾田栄一郎画集

COLOR WALK 1

JC◯X ONE PIECE 尾田栄一郎画集 COLOR WALK 1

SHUEISHA

JC◯X

ONE PIECE

尾田栄一郎画集

COLOR WALK 1

The base of Marine
Foosha village
Conomi Islands
Cocoyasi village
Baratie the restaurant on sea
ONE PIECE WORLD MAP
EAST BLUE